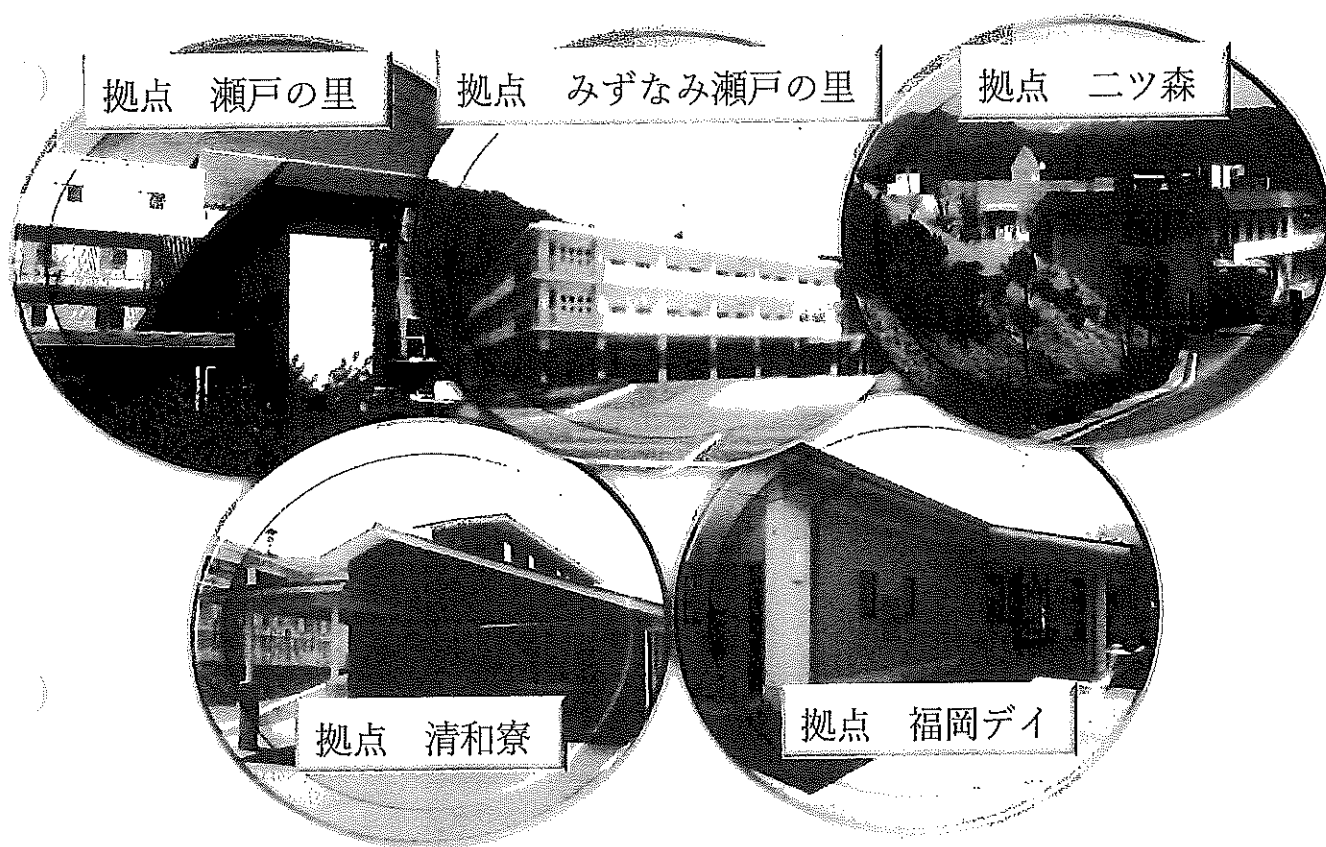


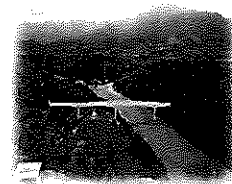
# 令和4年度 事業報告



社会福祉法人五常会



## 令和4年度 社会福祉法人五常会本部 事業報告



年間をとおし、定款に記載された人間愛、人への尊厳をもとに地域福祉の拠点として自立支援・利用者満足度の高いサービス提供ができる法人を目指しました。

## 令和4年度における経過及び成果

- ・法人全体で当該年度は資産 2,707,666,796 円・負債合計 753,123,948 円、純資産合計 1,954,542,848 円で決算を終了しました。当期増減差額は昨年度△10,026,638 円が、今年度も赤字で△1,679,596 円と各事業所の赤字体質は解消されていません。主たる要因は各拠点での介護保険料収入の大幅減、職員雇用拡大などによる人件費の急増そして光熱水費の高騰や新型コロナの影響も受けました。
- ・連携推進法人の準備を進め、防災関連で3法人の合同研修会を五常会で開催し、その後設立総会などを経て、社会福祉法人一誠会と社会福祉法人戸井福社会と共に、連携推進法人一五戸共栄会を設立し加盟しました。当法人理事長が連携推進法人理事長となりました。
- ・昨年度から法人財源確保の観点から各拠点に定員按分による経費分担を実地しましたが、収支差額マイナス拠点からの繰入ができない状況が続いています。
- ・昨年度開設の「五常会ケアプランセンター中津川」を始め居宅事業所は、年度中に3名体制を確保しました。市委託事業で欠員が発生した地域包括支援センターも年度末に、主任ケアマネージャーの確保に目途が立ちました。
- ・新型コロナウイルスに関しては年間を通じ標準予防策実施しましたが、令和4年11月に瀬戸の里、令和5年1月にみずなみ瀬戸の里と両拠点でクラスターが発生したほか、各デイサービス事業、ショートステイ事業についても数日単位の休業に追い込まれました。  
外部の会議・研修の中止又はWebでの実地で新型コロナウイルスの影響を受けました。  
特養利用者が対象の対面での施設行事及び地域交流については全面的に中止となりました。
- ・働きやすい職場を目指し、岐阜県ワーク・ライフ・バランス（W・L・B）エクセレント企業・岐阜県介護人材育成制度（G2）の基準をクリアし再認定を受けています。
- ・一誠会、戸井福社会との3法人による連携推進法人の「災害時支援」を目的に、五常会で10月に夜間防災訓練、翌日に各法人施設の立地条件などリスクや防災備蓄品などの確認をしました。
- ・人材確保については、様々な機会をとらえた求人活動と社会情勢も影響し一定の成果を得ることができました。外国人雇用に関してはEPA制度の他、特定技能・技能実習生も加わり、国籍もベトナムからフィリピン他多国籍化してきました。

## 法人番号・所在地等

岐阜県	21	中津川市	206	法人番号	1200 0050 08959
住所	〒508-0111 岐阜県中津川市瀬戸 1387 番地 8			Mail	Info@gojoukai.or.jp
電話	0573-65-3141	FAX	0573-65-5178	URL	http://www.gojoukai.or.jp

## 法人の理念

<p>地域の皆さんと共に 地域の高齢者の皆さんが生き甲斐を持って より楽しく より健康に より安心して 過ごしていただけるようお支えするのが 私たちの願いです</p>
---

## 評議員及び役員など

	評議員 (定員 7 名)	理事 (定員 6 名)	監事 (定員 2 名)	評議員選任・解任 委員 (定員 4 名)
1	小栗 正敏	土屋 大二郎 (理事長)	知久 隆雄	兼松 一夫
2	小島 由城経	高橋 明範	西尾 國明	知久 隆雄
3	梶田 幸一	内木 良治		今井 均
4	柏原 美之	松下 正伸		加藤 佐紀
5	桂川 邦俊	水野 敬生		
6	張山 あけ美	向 晃良 (常務理事)		
7	山本 亮			
報酬総額	135,030 円	879,726 円	74,340 円	

## 評議員選任解任委員会開催状況

	開催日・開催状況	定数 4 名	
1	開催無し	4 名	

## 評議員会の開催状況

	開催日・開催状況	定数 7 名	主たる議題
1	令和 4 年 6 月 16 日 定時評議員会	評議員 7 名・欠席 0 名 監事 1 名	決議 1.令和 3 年度監事監査報告 2.令和 3 年度事業報告 3.令和 3 年度計算書類 4.令和 3 年度財産目録 5.令和 3 年度業績不芳の要因分析 6.社会福祉連携推進法人設立 7.人事制度改革推進

理事会の開催状況

	開催日	定数6名	主たる議題
1	令和4年5月26日	理事6名 監事1名同席 欠席 西尾監事	決議 1.評議員会招集 2.令和3年度監事監査報告 3.令和3年度事業報告 4.令和3年度計算書類 5.令和3年度財産目録 6.令和3年度業績不芳の要因分析 7.令和4年度補正予算 8.社会福祉連携推進法人設立 9.人事制度改革取組 10.みずなみ瀬戸の里拠点長・施設長交代人事 11.みずなみ瀬戸の里受入れ留学生の借入債務に係る連帯保証 報告 1.社会福祉充実計画 2.理事長及び常務理事の職務執行状況 3.資金運用状況 4.幹部職員の人事異動と組織図
2	令和4年11月24日	理事6名 監事2名同席	決議 1.第1次補正予算 2.給与規定改定 3.定款改定(取り下げ) 4.経理規程改定 5.幹部職員の下期賞与査定 6.関西電力地役権設定 7.みずなみ瀬戸の里職員宿舍整備 報告 1.理事長及び常務理事上期職務執行状況 2.上期収支状況 4.新型コロナウイルス対応状況 5.人事制度改革取組状況 6.各種補助金申請状況 7.法人監査結果及び指摘事項等対応の報告
3	令和5年3月15日	理事6名 監事2名同席	決議 1.令和5年度事業計画 2.令和5年度予算 3.令和4年度第3次補正予算 4.幹部職員の人事異動 5.業務委託先事業者の変更・更新 報告 1.令和4年度業況報告 2.人事制度改革取組中間報告 3.社会福祉連携推進法人取組状況 4.みずなみ瀬戸の里寮宿舍建設 5.みずなみ瀬戸の里再建計画 6.瀬戸の里改善計画 7.新型コロナ感染・対応状況 8.不祥事故等報告

監査対応【法人監査・介護保険監査等】

日時	監査等の機関	指導事項等
令和4年10月24日	岐阜県政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処分した固定資産物品の理事長承認を得ること</li> <li>・固定資産現在高報告書と管理台帳の照合をすること</li> <li>・資産変更登記が評議員会承認前に届出されている</li> <li>・公益事業(地域包括など)の会計区分を検討すること</li> </ul>

## 法人本部職員の人数

常勤専従職員	0名	常勤兼務者の実数	理事長他5名	非常勤職員0名	常勤換算1.0名
--------	----	----------	--------	---------	----------

## 前年度に実施した事業等の概要

コード	拠点名	名称	種類等	定員	管理者等
01	本部	社会福祉法人 五常会		-	土屋
02	瀬戸の里	特別養護老人ホーム瀬戸の里	指定介護老人福祉施設	100	向
		同 (短期入所)	指定短期入所	5	向
		瀬戸の里デイサービスセンター	地域密着通所	18	松葉
		西在宅介護支援センター	市委託事業	-	宮原
		瀬戸の里地域包括支援センター	市委託事業		伊藤(恵)
		瀬戸の里ケアプランセンター	居宅支援	-	向井
03	清和寮	養護老人ホーム中津川市清和寮	市指定管理	45	長葭
		中津川市デイサービスセンターゆうわ苑	地域密着通所	18	二村
		五常会ケアプランセンター中津川	居宅支援	-	粟田
04	福岡デイ	福岡デイサービスセンター	通常型通所	25	佐藤
		福岡ショートステイ事業所	基準該当短期	3	佐藤
05	みずなみ 瀬戸の里	特別養護老人ホームみずなみ瀬戸の里	指定介護老人福祉施設	80	加藤
06	二ツ森	特別養護老人ホーム二ツ森	指定介護老人福祉施設	55	糸魚川
		二ツ森ショートステイ	指定短期入所	5	早川
		二ツ森デイサービスセンター	地域密着通所	10	今井
		二ツ森居宅支援事業所	居宅支援	-	鎌田

認可等機関 指定→岐阜県又は中津川市 地域密着・基準→中津川市 指定管理→中津川市

## 法人直轄委員会

委員会名	活動内容
人事戦略委員会	人事制度構築プロジェクト
品質向上委員会	不適切ケア排除のチェック等
広報委員会	ホームページの見直し 各事業所パンフレットの作成
特養委員会	稼働率対策 感染症対応力強化 科学的介護への取組
デイサービス委員会	収益改善 科学的介護への取組 ICTによる業務省力化

※人事戦略委員会・デイサービス委員会以外は感染症対策により、集合して会議を実地することができず、目立った成果をあげることができなかった。

## 地域における公益的な取組

	事業名	事業名	担当地区	
1	瀬戸の里ワンコインサロン	中津川市集中型一般介護予防事業	苗木	
2	西あんきなくらぶ	中津川市集中型一般介護予防事業	西	

## 透明性の確保に向けた取組状況

公表有	事業報告・財産目録・事業計画書・苦情処理結果・監事監査結果・附属明細書
公表無	第三者評価事業 ⇒ 未実施
公表有	ZEB リーディングオーナー (環境庁/経済産業省 HP)

## 今後の取組課題

1	適正な人員確保と職員のキャリアアップ・人事考課の導入
2	科学的介護情報システム (LIFE) 等を活用した介護の適正化
3	新型コロナウイルス5類引下げと
4	法人の継続性、新たな体制確保に向けた取組 BCP 作成
5	社会福祉連携推進法人の検討
6	2024年度介護報酬改定に向けた情報収集と対応検討 総合事業拡大等

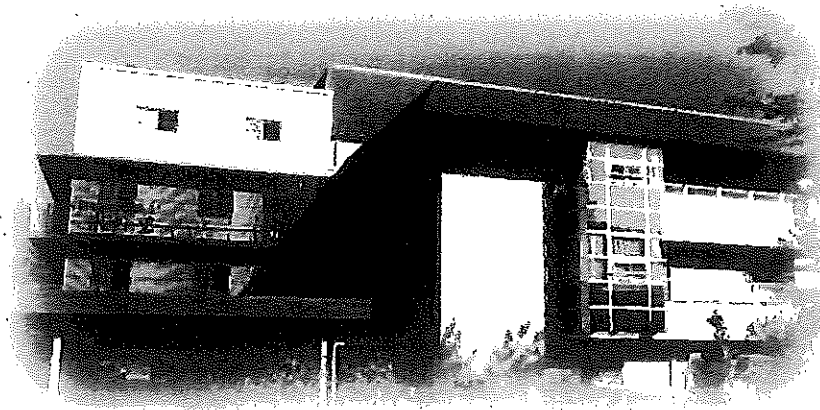
## 働き方に関する各制度の認定状況

1	岐阜県ワークライフバランス・エクセレント企業
2	岐阜県介護人材育成事業者 グレード2
3	岐阜労働局 はつらつ宣言事業所





令和 4 年 度  
事 業 報 告



特別養護老人ホーム瀬戸の里  
瀬戸の里デイサービスセンター  
瀬戸の里ケアプランセンター  
中津川市瀬戸の里地域包括支援センター  
西在宅介護支援センター



## 令和4年度 特別養護老人ホーム瀬戸の里 事業報告

この数年新型コロナウイルス感染症に罹患する職員や家族はありましたが、施設内に入ることなく過ごすことができていました。が、令和4年11月26日より利用者・職員計19名のクラスターとなり12月16日の終息までの20日間、利用者・ご家族・関係各所には大変ご心配をおかけすることになりました。クラスター期間内にも、岐阜県高齢支援課による感染対策実施指導、さらに恵那市民病院感染管理認定看護師による指導を受け、適切なゾーン分けと个人防护具の使用方法を再度見直し、職員一丸となり対策を徹底し19名という人数のわりに20日間で終息することができました。

新型コロナウイルス感染症対策継続の中でも、制限はつきますが面会を継続できたこと、レクリエーション専属の職員による時間が利用者の心の支えや不安解消・楽しみにつながることであったと思います。

人材については、理由はさまざまではあるものの11名の退職者を出すことになり、人材育成と就労継続の難しさを痛感する1年でした。それに対し、新卒者1名、介護経験者1名、EPA フィリピン1名の3名の確保しかできず、令和5年入職者に対する指導方法は少しずつ変更していくこととしました。

ショートステイについては新型コロナウイルス感染症の影響はありますが、利用者の高齢化による入退院などの影響も大きく、月ごとの利用者数に大きな変動がありました。それらを踏まえた上で居宅介護支援事業所とさらに連携をとり信頼関係を築き、安定した利用者確保につなげていきます。

特養（入所＋短期）サービス区分での事業活動計算では下記のとおりでした。

	今年度	昨年度	増減	
収益計	450,400 千円	441,499 千円	8,900 千円	102.02%
(内サービス活動収益)	438,316 千円	429,678 千円	8,637 千円	102.01%
費用計	430,317 千円	426,782 千円	3,534 千円	100.83%
(内人件費)	259,053 千円	263,238 千円	-4,185 千円	98.41%
当期活動増減差額	20,082 千円	14,716 千円	5,366 千円	134.46%

毎年懸案の稼働率については、当初目標特養 96.0%⇒93.3%,短期 47.0%⇒49.5%と入所で目標を大きく下回る結果となってしまいました。マンパワーが不足する中で、館内 Wi-Fi 整備を完了することができ、今後の ICT を活用した生産性向上の一步とすることができました。

入居者状況

3月末現在

(歳)

区分		男	女	合計
入所者数		17	78	95
年間	入所	4	20	24
	退所	5	22	27

	男	女
最高年齢	99	104
最小年齢	65	66
平均年齢	85.4	89.6
	88.9	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者				2	2	2	1	3	3	2	3	2	4	24
内訳	在宅			1	1	1		1	2		2		1	9
	病院					1			1	1	1		1	5
	老健他			1	1		1	2		1		2	2	10
退所者			3	2	1	4	1	3	2	5	4	1	1	27
内訳	死亡		3	2	1	4	1	3	2	5	4	1	1	27
	入院													0
	家庭復帰													0
	その他													0

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	1,095	1,117	5,407	13,998	12,745	34,362
今年度	1,062	675	6,150	12,840	13,343	34,070

平均要介護度	4.1	定員	36,500人	稼働率	93.34%
--------	-----	----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
0	3	5	16	35	5	23	8

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
24	47	20		22	37	11	21	4	95

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
6	2	1	0	0	11	2	331

※「転倒・ざり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
1	0	0	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	0	0

職員の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	管理栄養士	機能訓練指導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1		1	1	31	2	1	1	2	2	42
非常勤(B)		1			7	4		1		2	15
非常勤の 常勤換算(C)		0.1			2.7	2.9		0.1		1.1	6.9
(A)+(C)	1	0.1	1	1	33.7	4.9	1	1.1	2	3.1	48.9

※厨房業務⇒日清医療食品に業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	4 人
介護福祉士	24 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	4 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													0
支援2												7	7
介護1	8	5	6	23	24	28	25	25	42	5	10	7	208
介護2	7	14	9	4	13	4	10	1				16	78
介護3	26	11	15	29	39	43	44	37	33	23	9	12	321
介護4		27	3	7	16	8	7	7	24	4	43	24	170
介護5	5	5	3	6	8	18	16	11	2	9	17	20	120
合計	46	62	36	69	100	101	102	81	101	41	79	86	904
昨年度利用状況	76	86	52	52	72	66	72	88	75	88	69	50	846
	利用定員		1,825		稼働率		49.53%						

## 行事報告

4月27日	花見 開園記念	開園記念 握り寿司会食	10月11日	運動会	各階対抗運動会 五平餅会食
5月27日	いちごパーティ	いちご狩り会場を作り楽しむ	11月4日	ふる里会食	握り寿司会食 レクリエーション
6月24日	青空喫茶	ピロティでおやつバイキング	1月27日	新年会	職員による演奏会
7月15日	清涼祭	流しソーメン	2/4・2/15	ドライブ外出	景色を見て車内でお茶会
8月6日	夏祭り	屋台 花火大会	3月15日	ひな祭り	ひな壇飾り アプリ仮装
9月15日	敬老会週間	敬老のお祝い 握り寿司会食			

## 職員研修

日時	研修内容	実施機関	実施委員会
5月23日	虐待予防研修会	瀬戸の里 副施設長	サービス担当者会議
5月28日	褥瘡予防研修会	瀬戸の里 看護師	安全衛生委員会（安衛法）
6/23 7/14	感染症初期対応訓練	瀬戸の里 看護師	給食委員会
6/28 7/20	ハラスメント研修会	瀬戸の里 副施設長	褥瘡予防対策委員会
7月12日	虐待予防研修会	中津川市高齢支援課 のぞみが丘ホスピタル	身体拘束適正化委員会
7月20日	褥瘡予防研修会	老施協東濃支部 (株) クリニコ	感染対策委員会
8月1日	褥瘡予防研修会	大王製紙	事故防止対策委員会
9/1.7.13	救急救命訓練	中津川市消防本部	ハラスメント防止対策委員会
9月22日	認知症能力向上研修	岐阜県看護協会 鈴木認定看護師	防災会議
10月13日	夜間総合防災訓練	中津川市消防本部・苗木消防団・連携推進法人	
11月5日	スキルアップ研修	老施協東濃支部 ファシリテータ (株)	
11/2 2/28	スキンケアとポジショニング研修	岐阜県看護協会 下呂温泉病院田口認定看護師	
1月20日	事故・身体拘束研修会	岐阜市介護サービス	
3月2日	看取り研修会	岐阜県立多治見病院	
	新人職員研修	入職後適宜実施	
毎月	事故対策検討勉強会	介護職	
毎月	オンライン動画研修	特養職員	

その他老施協他関係団体研修会に参加

## 令和4年度 瀬戸の里デイサービスセンター事業報告

令和4年度は目標70%に定めスタートしましたが、令和3年度を下回る50.6%の稼働率と低迷しました。

コロナ過の中、職員の日々の感染予防対策や、利用者、ご家族のご協力により感染予防、体調の変化に速やかに対応していただけたことで営業が続けられましたが、利用者の入院・入所により利用中止が重なる状況や、居宅介護支援事業所との連携が上手くいかず積極的な営業活動につながらなかったことにより新規の受け入れにも影響したと思われまます。また職員の異動により加算の算定が困難な状況になりました。

少ない職員ではありましたが利用者に対して目と手を掛けた手厚い対応と、介護事故なく終えることができました。

コロナ過が続く中ではありましたが、季節行事では感染予防をはかり花見ドライブや紅葉ドライブを楽しんでいただいたり、認知症予防につながるような回想法を取り入れたレクリエーションの提供もおこないました。

コロナ過で中止されていた苗木作品展の再開により、利用者の作品を出展することができ好評だったと伺いました。介護相談員の訪問の受け入れもおこない、ご感想をいただきました。

機能低下予防の取り組みとして口腔体操、リハビリ体操、骨密度アップ運動を継続し、利用者に効果について日々伝えることもおこないました。看護職員が中心となり歩行バー、滑車を使った運動で筋力低下予防につなげる取り組みをおこない、新たに足漕ぎ運動ができる器具を購入しPTにアドバイスをいただきながら、利用者の機能向上アップに向けた取り組みも始めました。

令和5年度として、職員間の連携を取り利用者の過ごしやすい環境づくりを検討し、稼働率向上のため各居宅介護支援事業所に当事業所のアピール方法を再検討し、新規利用者確保に努めてまいります。

令和4年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500149			定員(A)	18人			総合事業 A6有
事業所名	瀬戸の里デイサービスセンター			3月利用実人員	27人			
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日	月～土(年末年始を除く)			
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月 ※1認知症加算は個別加算の為 対象者のみ加算 ※2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080
	入浴加算			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化加算 (I)イ	880	1760	220	220	220	220	220
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	※1 認知症加算 (個別加算の為含めず) 介護職員処遇改善加算 (I)	1,038	2,126	506	586	670	752	835
	介護職員特定処遇改善加算 (I)	211	432	103	119	136	153	170
	ベースアップ等支援加算	194	396	94	109	125	140	156
	※2 昼食・間食 720×利用回数 720×利用回数			720	720	720	720	720
	利用料日額合計	19,044	38,995	9,993	11,475	13,001	14,515	16,031

要支援は一か月単価表記

	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	308日	308日	0	令和4年度	令和3年度
平均年齢	85.04歳	87.15歳	-2.11	0	0
男女別人員	男1036人 女1773人	男849人 女2019人	—	第三者委員へ報告数	
平均介護度	2.3	2.3	0.0	事故	
要支援 I	44人	51人	-7	令和4年度	令和3年度
要支援 II	0人	13人	-13	0	0
要支援合計	44人	64人	-20	保険適用件数	
要介護 I	813人	738人	75	職員等の状況	
要介護 II	585人	722人	-137	兼務の場合は主職種	
要介護 III	776人	565人	211	常勤	非常勤
要介護 IV	225人	479人	-254	管理者	1
要介護 V	362人	300人	62	相談員	2
要介護合計	2,761人	2,804人	-43	介護士	1
年間総合計	2,805人	2,868人	-63	看護婦(准看護師)	1
年間総定員	5,544人	5,544人	0	支援	0
稼働率	50.60%	51.73%			
計画数	3889人	4,158人	-269		
達成率	72.13%	68.98%			



## 令和4年度 利用者年間行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】	人数
4	工作	桜・鯉のぼり工作をし、季節を感じていただく	32名
	花見ドライブ	桜の名所めぐりドライブ 季節を感じていただく	
5	工作	季節工作をし、季節を感じていただく	33名
	防災訓練	地震を想定した訓練	
	頭の体操・ゲーム	新しいゲームやボードを使い回想法を取り入れたゲーム	
6	工作	あじさい工作をし、季節を感じていただく	32名
	頭の体操・ゲーム	プリント、ボードを使い認知症予防につなげる	
	手作りおやつ	職員の手作りで普段と違うおやつを味わっていただく	
7	工作	七夕飾りを作成し季節を感じていただく	31名
	頭の体操・ゲーム	塗り絵・書道等個別にあった内容で認知症予防につなげる	
8	工作	花火工作をし、季節を感じていただく	30名
	頭の体操・ゲーム	プリント・ボードを使い回想法を取り入れたゲーム	
9	ゲーム	魚釣りゲーム、新聞紙・ドミノを使い巧緻性の維持向上につなげる	31名
	防災訓練	防災についての話、新聞紙で作るスリッパ作り	
	工作	ハロウィン工作をし、季節を感じていただく	
10	手作りおやつ	季節料理（五平餅）を味わっていただく	31名
	ゲーム・工作	ボードを使い回想法を取り入れたゲーム、個別に合わせた工作	
11	紅葉ドライブ	夕森公園へ行き紅葉を楽しみ季節を感じていただく	30名
	工作	紅葉工作をし、季節を感じていただく	
	ゲーム	社協で借りた玩具を使用した懐かしい昔の遊びを楽しんでいただく	
12	工作	クリスマス、正月工作をし、季節を感じていただく	27名
	クリスマス会	クリスマスビンゴゲーム、苑内喫茶を楽しんでいただく	
1	初釜・初詣	近くの神社に初詣、初釜で抹茶を味わっていただく	26名
	正月遊び	昔懐かしい正月遊び、カルタ、坊主めぐりを楽しんでいただく	
2	手作りおやつ	職員の手作りで普段と違うおやつを味わっていただく	27名
	ゲーム・工作	節分工作、下肢を使ったゲームを楽しんでいただく	
3	苑内喫茶	好きな飲み物を選び喫茶の雰囲気味わっていただく	27名
	頭の体操・ゲーム	プリント、数字盤トレーニング等を使い認知症予防につなげる	
年間通して		お誕生日会（毎月）口腔体操（毎日）リハビリ体操（毎日） カレンダー色塗り（月末）1年を通して2月の作品展に向けた作品作り	

※尚、各行事に不参加の方には、その都度各利用者に適した個別レクリエーションを提供

※生活に則した機能低下予防運動は、日課の中で希望者へ提供



令和4年度 瀬戸の里ケアプランセンター 事業報告

1 介護支援専門員の状況

令和5年3月31日現在

介護支援 専門員数	3.3 人	内 訳	常 勤	専従	2 人	非常勤	専従	0 人
				兼務	2 人		兼務	0 人

2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
4月	69	2.5	28
5月	71	2.5	28
6月	68	3.0	23
7月	66	3.0	22
8月	68	3.0	23
9月	63	3.0	21
10月	65	3.0	22
11月	66	3.0	22
12月	59	3.0	20
1月	63	3.3	19
2月	64	3.3	19
3月	67	3.3	20
合計	789	35.9	22

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	垣内	向井	前田	丹羽	伊藤	合計
年間件数		29件	296件	302件	152件	10件	789件
新規件数		0件	9件	10件	10件	5件	34件

(\*新規件数=ケアプランの依頼を受けたうち、初回に給付管理を行った場合 + 介護度が2段階以上変化した、初回加算を算定した場合)

終了件数(人)	入所等	10件	死亡	16件	変更	1件	合計	27件
---------	-----	-----	----	-----	----	----	----	-----

(変更=居宅支援事業所変更：予防給付への移行および高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

・前年度との比較

	給付管理月取り扱い 件数	新規件数	終了件数	6月より常勤換算で3人となり特定事業所加算Ⅲを算定することができた。
令和3年度	66件	25件	26件	
令和4年度	66件	34件	27件	
差	0件	9件	1件	

〈介護度別利用者数の割合〉

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護3~5の割合
49 %	27 %	14 %	6 %	3 %	24 %

(小数点以下四捨五入して記載)

3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費（Ⅰ）を算定 （取り扱い件数40未満）	要介護 1・2	10,760円/月
	要介護 3・4・5	13,980円/月

提供月	介護度別件数		支援費	介護度別件数			支援費	支援費合計
	介護1	介護2		介護3	介護4	介護5		
4月	36	18	581,040	7	6	2	209,700	790,740
5月	39	16	591,800	7	7	2	223,680	815,480
6月	34	17	548,760	9	6	2	237,660	786,420
7月	33	16	527,240	9	6	2	237,660	764,900
8月	32	19	548,760	9	6	2	237,660	786,420
9月	31	17	516,480	10	3	2	209,700	726,180
10月	32	18	538,000	10	3	2	209,700	747,700
11月	34	18	559,520	11	2	1	195,720	755,240
12月	26	18	473,440	11	3	1	209,700	683,140
1月	28	19	505,720	11	2	3	223,680	729,400
2月	29	19	516,480	11	2	3	223,680	740,160
3月	33	19	559,520	9	4	2	209,700	769,220
合計	387	214	6,466,760	114	50	24	2,628,240	9,095,000

令和4年6月から人員配置が3人となり特定事業所加算Ⅲが取得できる体制を確保できた。また、令和5年1月より常勤換算3.3人配置とすることができた。

4 加算・減算の適用について  
(加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	単位	円	件数	加算額
特定事業所加算Ⅲ	309	3,090	649	2,005,410
初回加算 (初回または2段階変更)	300	3,000	34	102,000
入院時情報連携加算Ⅰ	200	2,000	14	28,000
入院時情報連携加算Ⅱ	100	1,000	2	2,000
退院・退所加算	450	4,500	1	4,500
緊急時居宅カンファレンス加算	200	2,000	0	0
通院時情報連携加算	50	500	2	1,000
ターミナルケア加算	400	4,000	1	4,000
加算額合計				2,146,910

(減算の状況)

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われない場合、所定単位数×0.5を算定

運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

特定事業所集中減算が適用される場合

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人

へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

前期判定期間〔3月1日～8末日〕 ⇒ 減算適用期間〔10月1日～3月31日〕

後期判定期間〔9月1日～2月末日〕 ⇒ 減算適用期間〔4月1日～9月30日〕

\*注 平成27年の介護報酬改定に伴い、居宅介護支援の公平・中立性を更に推進するため、平成27年9月以降の特定事業所集中減算の要件が変更となった。

●訪問介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社ツクイ		(事業所) 株式会社ツクイ 中津川	
前期	117	65	55.6%
(法人名) 株式会社ツクイ		(事業所) 株式会社ツクイ 中津川	
後期	102	52	51.0%

●通所介護において、紹介率が最も高い法人 地域密着型通所介護の件数を含む

期間	通所介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
前期	300	127	42.3%
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
後期	309	116	37.5%

●福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人

期間	福祉用具貸与が位置づけら れた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
前期	223	141	63.2%
(法人名) 株式会社トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
後期	206	121	58.7%

5 委託管理の状況

提供月	委託管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
1月	0	3.3	0
2月	1	3.3	0
3月	1	3.3	0
合計	2	3.3	0.2

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	垣内	向井	前田	丹羽	伊藤	合計
	年間件数	0件	2件	0件	0件	0件	0件
新規件数	0件	1件	0件	0件	0件	0件	1件

(\*新規件数=ケアプランの依頼を受けたうち、初回に給付管理を行った場合 + 介護度が2段階以上変化し、初回加算を算定した場合 )

終了件数(人)	入所等 0件	死亡 0件	変更 0件	合計 0件
---------	--------	-------	-------	-------

(変更=居宅支援事業所変更：介護給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

・前年度との比較

	給付管理月取り扱い 件数	新規件数	終了件数	1月より限定的に中 津川市包括支援セン ターより予防給付受 託。
令和3年度	0件	0件	0件	
令和4年度	2件	1件	0件	
差	2件	1件	0件	

〈介護度別利用者数の割合〉

要支援1	要支援2
100 %	0 %

(小数点以下四捨五入して記載)

## 6 居宅支援委託費の請求状況

居宅支援委託費算定	要支援 1・2	4,300単位/月
-----------	---------	-----------

提供月	介護度別件数		介護度別件数		委託費合計
	支援1	委託費	支援2	委託費	
1月	0	0	0	0	0
2月	1	4,300	0	0	4,300
3月	1	4,300	0	0	4,300
合計	2	8,600	0	0	8,600

## 7 加算・減算の適用について (加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	単位	円	件数	加算額
初回加算 (初回または2段階変更)	300	3,000	1	3,000
加算額合計				3,000

## 8 介護支援専門員資格の状況

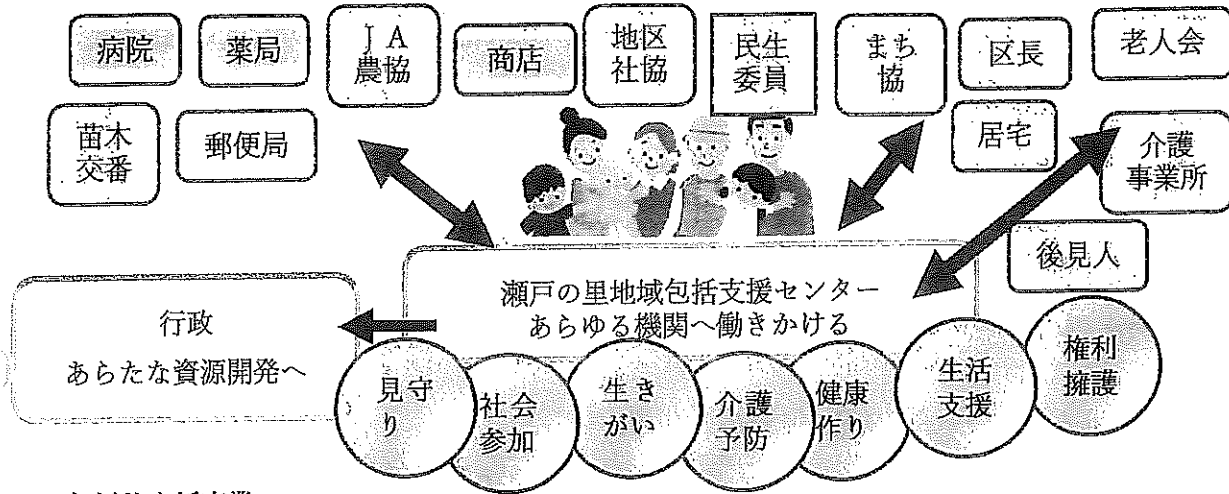
(令和5年3月31日現在)

向井 優子	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 7年 3月 25日〕 主任介護支援専門員更新研修修了 〔 修了年月日 : 令和 元 年 10月 9日 〕 〔 研修機関名 : 社会福祉法人 岐阜県福祉事業団 〕
前田 貴子	介護支援専門員証有効期間満了日〔平成 35年 6月 14日〕
丹羽 正和	介護支援専門員証有効期間満了日〔平成 35年 6月 14日〕
伊藤 志保	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 8年 3月 17日〕

# 令和4年度 中津川市瀬戸の里地域包括支援センター 事業報告

地域包括支援センターは地域ケアシステム構築を担う中核機関としての必要な支援を切れ目なく包括的に行う機関として、常に地域のニーズ把握と資源開発を視野に活動しています。

また令和4年度は、本来地域包括支援センターが担うべき介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における事業対象者のチェックリスト判定と介護予防ケアプラン作成を開始、介護予防ケアマネジメント業務も含めた高齢者支援の充実をはかりました。



## 1、包括的支援事業

### (1) 総合相談業務

#### ◆相談項目と件数の推移

相談内容別 (延べ)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
状態把握訪問	452	307	277	302
介護・福祉サービス相談	181	164	224	207
医療健康の相談	86	74	55	92
介護に関する相談	77	91	83	122
認知症の相談	31	42	69	95
申請代行	23	21	28	19
介護保険の相談	105	80	55	80
身障・精神	11	24	32	30
虐待に関する相談	11	19	6	5
成年後見	3	7	16	37
その他	41	168	22	161
介護予防	48	54	87	149
ケアマネ支援	29	44	72	111
合計	1,123 件	1,095 件	1,026 件	1,154 件

#### ◆前年度からの相談方法内訳の推移

	電話	来所	訪問
令和3年度	208 件	24 件	235 件
令和4年度	211 件	28 件	287 件

◆相談内容の特徴としては、介護支援専門員からの相談、成年後見制度利用が必要なケース、外出かわり支援のケース、同居でも8050問題といわれるような高齢者と精神障害・経済面が絡み合う複合ケースが増えました。

(2) 権利擁護事業

現状の支援では問題が解決できない、適切なサービス等につながらないなど、困難な状況にある高齢者へ自己決定を促がすとともに、専門的・継続的な視点から必要な支援をおこないました。

① 成年後見制度の活用促進 (18件)

成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族や担当介護支援専門員等に対して成年後見制度の説明紹介、権利擁護センターの専門職と連携し同行訪問、対応をおこないました。

② 高齢者虐待への対応 (権利擁護 19件 虐待に関する相談 5件)

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、市と協議し、速やかに当該高齢者の状況を確認、適切な対応を支援しました。

③ 消費者被害の防止

地域と関係機関などに啓発活動をおこないました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (介護支援専門員支援 111件)

介護支援専門員と地域の関係機関と互いに連携し、支援をしました。

(4) 認知症に関する施策 (認知症に関する相談 93件)

認知症の早期発見や症状の悪化防止への支援、家族や地域への支援をおこなうとともに、啓発活動の結果、講座や教室へのボランティア協力者が増え、理解が進んだと感じています。

事業名	回数	参加人数	内容
認知症介護者の会	3回	86名	介護や認知症についてのお話
認知症カフェ	11回	63名	認知症についての啓発
認知症サポーター養成講座	3回	148名	認知症へ理解と地域の支え合いについて

(5) 地域ケア会議の開催

① 地域ケア個別会議 (2回)

高齢者個人に対する支援と、社会基盤の整備を目的に、多職種協働のもとフォーマル・インフォーマルな地域資源を探り、地域包括支援ネットワークを深めました。

ケース内容	専門職参加
ケース①80代、女性、サービス利用は安定 地域と繋がりたい方への支援	薬剤師・理学療法士・訪問看護師 区長・民生委員・主任介護支援専門員 第2層生活支援コーディネーターなど
ケース②80代、独居男性、サービス拒否 地域から孤立している方への支援	

② 地域ケア会議 (6回)

困難ケース支援を通じて、介護等が必要な高齢者の住み慣れた住まいでの生活を目指して地域全体で支援できるよう検討しました。

ケース内容の一部	結果
精神疾患ある独居女性、遠方の兄弟の支援の限界、養護対象か検討	入院中
要介護の夫婦と精神疾患ある長男世帯への介入支援	安定見守り
ゴミ屋敷と多頭飼育、サービス介入望まない身寄りのない高齢独居女性	他界し終了
身寄りのない独居高齢者への支援	養護→特養

③ 相談協力員懇話会

地域住民との橋渡しを担う各分野の協力員の皆さんと、各立場から感じる苗木地区の現状及び地域ニーズを共有しました。



2、介護予防事業 (介護予防相談 130件) (閉じこもり相談 19件)

① 介護予防教室

コロナ禍中の前年度の23回224人から、2倍以上の実績となりました。

教室名	回数	参加人数	内容
独居の会	10回	86名	季節行事を通じた交流会
いきいき健康教室	10回	63名	いきいき健康寿命を延ばす
のびのび楽ちん体操教室	11回	148名	健康運動実践指導者による健康体操
地区巡回型健康教室	5回	177名	健康講和、体操、脳トレ等
合計	34回	474名	

② 出前講座

その都度、地域からの要望に対して講座を企画し開催。

コロナ禍中の前年度の9か所162人から大幅に増加、地域活性化に寄与しました。

	対象者	人数	内容
4/15	苗木地区区長	16名	みまもりのわネットワーク/どこシル伝言板説明
4/23	新谷区老人会	12名	けんばち君体操DVD、脳トレ、新聞紙活用
6/18	津戸区住民	10名	いきいき元気体操、脳トレ&新聞紙レク
7/9	新谷区老人会	12名	包括からの話、いきいき元気体操、脳トレ
7/15	苗木地区民生委員	18名	包括からの話、どこシル伝言板講座～
7/19	苗木熟年大学	12名	いきいき元気体操、神経衰弱で脳トレ
7/25	おしゃべりサロン	6名	業務紹介介護予防取り組みについて懇談
9/1	中津高校	28名	認知症サポーター養成講座
11/15	苗木地域福祉推進員	15名	認知症サポーター養成講座
11/21	苗木小学校	65名	「福祉体験」認知症サポーター養成講座
11/26	本町区住民	35名	「高齢者気づきのサインと相談の実例と対応」
12/17	新谷区老人会	12名	ストレッチ認知機能向上(ボーリング・輪投げ)
1/12	苗木まちづくり協議会	9名	介護予防及び高齢者支えあいについて
	13か所	250名	

③ 介護予防ケアマネジメント

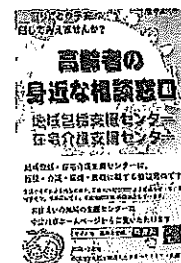
介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)における事業対象者への予防計画3名作成

3、その他、会議研修

名称	名称
5月 地域包括BCP研修会	毎月 支援センター部会
6月 重層的相談支援研修	地域包括連絡会
7月 虐待防止研修会	苗木地区連携会議
10月 認知症講演会	隔月 地域ケア会議検討委員会
在支地域包括協議会研修	支援センターPR委員会
11月 認知症地域推進研修会	虐待予防検討委員会
高齢者虐待防止研修会	随時 主任ケアマネ連絡会
認知症フォーラム	主任ケアマネ連絡会事務局会議
12月 生活支援合同研修会	苗木地区民児協定例会
福祉相談支援研修会	10月2月 地域包括運営協議会(書面開催)

※コロナウイルス蔓延による業務中止期間(行政主導)

令和4年8月5日～9月4日は緊急的相談、電話及チラシによる周知啓発活動





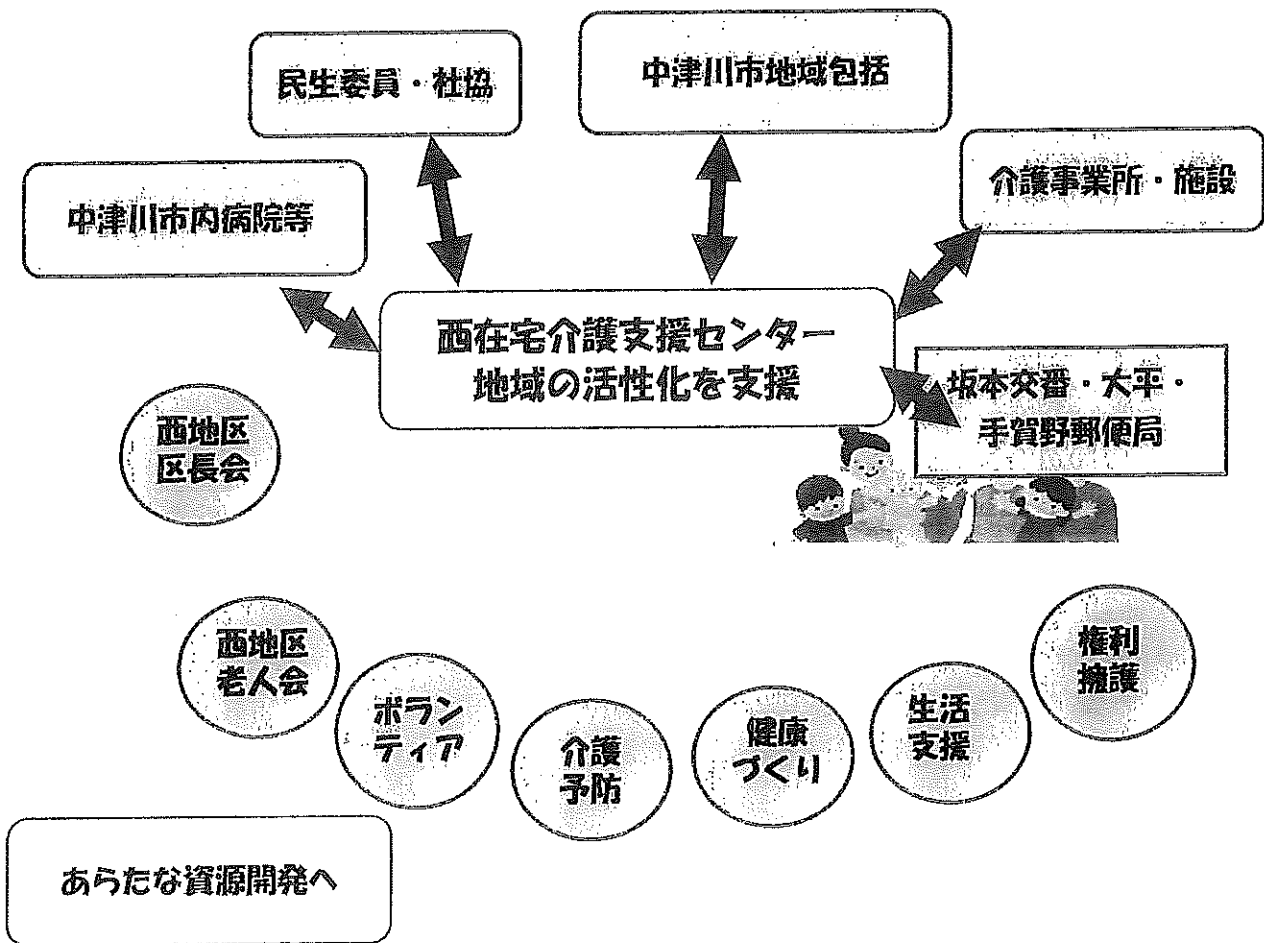
## 令和4年度 西在宅介護支援センター 事業報告

在宅介護支援センターは市内において地域に根差した信頼のおける法人が市から委託を受け、その委託料にて運営している。苗木地区と西地区の2カ所の委託を受けていること自体が当法人のPRになっている。コロナ禍であっても完全に通常業務に戻すことができています。

- ①リモートによる会議や研修
- ②小規模な事業運営・新たな事業の準備
- ③これまでの枠組みを超えた多職種との関係づくり
- ④ネットを活用した新たなPR活動
- ⑤コロナ禍でも計画数を落とさない工夫

### 在宅介護支援センターの業務

当センターが他事業所と大きく異なる点は、介護保険適用外の人を対象にしていること。非該当・要支援・要介護を問わず、担当地域に住む高齢者すべてが支援対象になっている。  
 〈業務については下記の項目に分類〉



## 1.総合相談支援

- ①：対象者本人・家族・近隣住民・区長・民生委員・老人会・公共機関・介護支援専門員・病院・介護保険事業所からの相談に対応する
- ②：認知症や虐待等、対象者の問題解決を目的とした当センターからのかかわり
- ③：①と②を円滑に進めるための情報収集と関係づくりを目的とした実態把握訪問

相談内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
状態把握	322	489	595
福祉サービス	86	52	43
医療面の相談	49	131	93
介護に関する相談	7	39	58
認知症	59	73	100
申請代行	37	27	33
介護保険	126	216	201
身障・精神	7	39	9
虐待	5	1	0
その他・生活	146	383	535
権利擁護・成年後見		31	11
合計	844	1481	1678

※市による相談項目の調整あり

※参加者同士の間隔を大きく開けての実施（コロナウイルス感染症対策マニュアルに従って）

## 2.介護予防事業

## ○楽々健康体操教室

1月以外の毎月第一月曜日開催  
 開催数 11回 年間参加者数 146人  
 内容：ストレッチ体操・太極拳・ヨガ  
 計画数を落とすことなく実施

## ○独居の会

毎月第三火曜日開催  
 開催数 12回 年間参加者数 45人  
 内容：参加者が予定した計画通りに実施

## ○新たな介護予防事業

コロナ禍で実施できる介護予防事業を計画・実施  
 今後に向けて集まらなくてもできる事業を計画

## 3.権利擁護事業

成年後見制度や消費者被害のチラシやカレンダーの配布  
 高齢者虐待に関する研修への参加

#### 4.認知症施策

○認知症家族介護者の会 開催数 3回 参加者数 13人

○認知症サポーター養成講座

開催数 : 2回

対象 : 西小学校4年生 93人+教師4人

西地区民生員未受講者 6人

※体育館での開催（コロナウイルス感染症対策マニュアルに従って）

#### 5.地域ネットワークの形成

- ・懇話会開催
- ・生活支援体制整備第2層協議体

※令和3年4月23日～6月20日・8月20日～8月26日・8月27日～9月31日

令和4年1月21日～3月21日 コロナウイルスまん延防止重点措置期間



令和4年度 瀬戸の里ワシントンサロン 事業報告  
令和4年度 西あんきなくらぶ 事業報告

事業名	中津川市 集中型一般介護予防事業
主旨	虚弱・閉じこもりなどの高齢者が要介護状態になることを予防し 生きがいや自己実現のための取り組みを支援していく

	苗木地区			西地区			備考
事業名	瀬戸の里ワシントンサロン			西あんきなくらぶ			
事業日	火曜日 木曜日			水曜日 金曜日			週1日
実施場所	瀬戸の里介護実習センター			西在宅介護支援センター			月4回
	中津川市瀬戸1387-8			中津川市津島1-25			
	4年度	3年度	前年比	4年度	3年度	前年比	4年度計
年間稼働日	93	94	-1	95	93	2	188
参加実人員	16	16	0	15	13	2	31
新規参加実人員	3	4	-1	4	4	0	7
参加延べ人員	555	552	3	438	455	-17	993
参加中止	4	4	0	6	4	2	10
(うち介護認定)	3	3	0	3	4	-1	6

※新型コロナウイルス感染症対策のため2時間開催を実施。※土日祝日及び4月第1週目は開催しない

4月	カレンダー作成、レク（記憶力ゲーム・数字並べ）、健康体操
5月	カレンダー作成、端午の節句工作、レク（赤白旗揚げゲーム）、健康体操
6月	カレンダー作成、しろやま歯科講座（木）、折り紙、レク（ホッケーゲーム）、健康体操
7月	カレンダー作成、七夕飾り製作、オニヤンマ工作、レク、健康体操
8月	カレンダー作成、夏祭りレク、体重測定、レク、健康体操
9月	カレンダー作成、防災の話、新聞紙スリッパ作成、十五夜工作、脳トレレク、健康体操
10月	カレンダー作成、新聞紙スリッパ掲示物作成、干支工作（うさぎ）、健康体操
11月	カレンダー作成、レク、紅葉壁飾り製作、PT派遣事業、紅葉ウォーキング、健康体操
12月	カレンダー作成、クリスマスレク、レク（お手玉、新聞紙レク）、健康体操
1月	カレンダー作成、正月レク（福笑い・坊主めぐり）、レク（サイコロゲーム）、健康体操
2月	カレンダー作成、針金ハンガーでモップ作り、レク（コップ倒し）、健康体操
3月	カレンダー作成、牛乳パックでかご作り、レク（アンバランスゲーム、射的）、健康体操

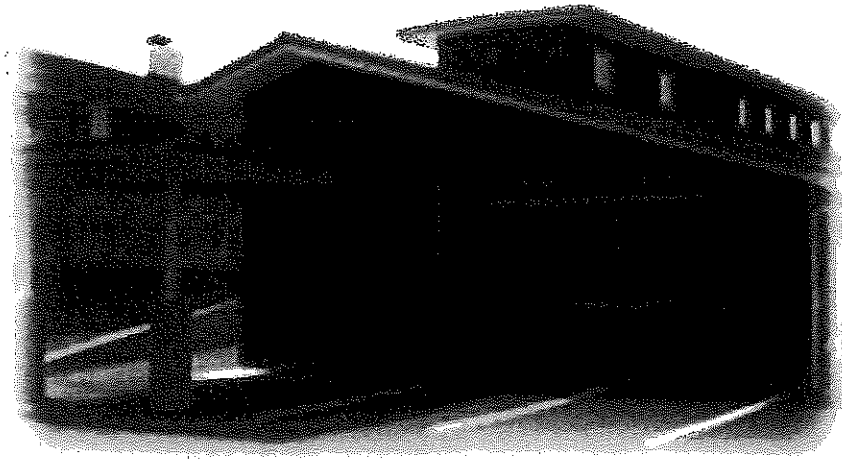
※今年度も2時間開催となったため、自宅でできる介護予防の取り組みとして脳トレプリントを配布。

1000  
1000

1000  
1000



令和 4 年 度  
事 業 報 告



養護老人ホーム中津川市清和寮  
中津川市デイサービスセンターゆうわ苑  
五常会ケアプランセンター中津川



## 令和4年度 養護老人ホーム中津川市清和寮 事業報告

この一年間は、新型コロナウイルスの感染予防に対する様々な対応・対策に追われる日々でした。そんな中、入所者1名が感染され、17日間の全員個室隔離との保健所からの指示があり、感染対策・食事の配膳・清拭・足浴など入所者の方の生命・生活を守るため最善を尽くす日々を過ごしました。隔離対応も改善を繰り返し、少人数でも対応可能であると思えるまでに意識向上しました。入所者の方たちから、「ありがとう。ご苦労様。職員も大変やね。」など優しい言葉をいただき、全職員・日清医療食品ともに一丸となって過ごした日々でした。幸い他の感染者を出さず終息することができました。いろいろな行事も縮小し、面会も窓越しや電話での対応とさせていただきました。そんな中でも、入所者の皆さんに少しでも楽しく過ごしていただけるよう行事を企画し実施しました。

光熱費の高騰により、委託費の中で納まるのか心配となり、中津川市福祉部高齢支援課に相談した所、衣類乾燥機代を中津川市に支払っていただけたことは大変助かりました。

9月に非常用自家発電が設置され、停電しても、3日間電力共有可能となり、災害時の備えができました。また、全職員が操作手順を学びました。

新型コロナウイルス渦の中、リモートによる多くの研修に参加することができたことは有意義なことでした。

新入所1名・ショートステイ5名あり、虐待による保護の方ばかりでした。介護度の高い方から重い認知症の方まで、緊急で情報も乏しく、職員間で数少ない情報を共有しながら対応してきましたが、大変苦慮しました。

入居状況

3月末現在

区分		男	女	合計
入居者数		14	15	29
年間	入所		1	1
	退所			0

(歳)

	男	女
最高年齢	91	98
最小年齢	72	69
平均年齢	80.4	86.1
	83.3	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内訳	在宅	1												1
	病院													
退所者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	死亡													
	入院													
	家庭復帰													
	その他													

利用状況

3月末現在

年度	介護度なし	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	24	2	0	2	0	0	28
今年度	20	3	2	4	0	0	29

平均要介護度	1未満
--------	-----

年間利用人数	10,521	定員	16,425人	稼働率	64.10%
--------	--------	----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
11	12	6					

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
28	1			24	5				29

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ずれ落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
1	0	0	0	0	1	1	18

※ 「転倒・ずれ落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	0	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1		1		9	1	1				13
非常勤(B)		1									1
非常勤の常勤換算(C)		0.1									0.1
(A)+(C)	1	0.1	1	0	9	1	1	0	0	0	13.1

※ 厨房業務⇒日清医療食品に業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	1 人
介護福祉士	8 人	准看護師	0 人
介護支援専門員	2 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立				1	1				1	1	1		5
支援1													0
支援2													0
介護1													0
介護2	1	1	1	1	1	2	1	1	1				10
介護3									1	1	1		3
介護4													0
介護5													0
合計	1	1	1	2	2	2	1	1	3	2	2	0	18

行事報告

月	行事名	内容	日
4月	桜散策ドライブ	車中にて、近隣の花見ドライブ	4.6.7.8日
	朗読教室	紙芝居やことわざクイズで楽しむ	15日
	プチサロン	ハンドマッサージでリラックス	28日
	お花見会食・セレクト	季節を感じる 2品から選択	15・25日
5月	季節の入浴	浴室、浴槽に菖蒲・よもぎを入れ楽しむ	5日
	モーニング	外の景色と軽食を楽しむ	13.17.23.24.27日
	レクリエーション	ストレッチ体操・ゲームでリフレッシュ	20日
	リクエストおやつ	普段食べられないおやつ4品から選択	17日
	セレクト	3品から好きなものを選択	25日
6月	カラオケ大会	順位関係なく楽しく歌う	30日
	レクリエーション	体操・ゲームでリフレッシュ	9日
	ドライブ	お茶を持って近隣ドライブ	10.16.20日
	朴葉寿司・セレクト	郷土料理を楽しむ 2品から選択	3・27日
7月	夏祭り	入所者・職員でゲームを楽しむ	21日
	ドライブ	景色を楽しむ	25.28日
	七夕給食	七夕の雰囲気を感じていただく	7日
	リクエストおやつ セレクト	おやつ3品から選択 2品から選択	26・28日
8月	レクリエーション	手遊び・歌を歌って楽しむ	22日
	ホットサロン	趣味活動を楽しむ	31日
	リクエストおやつ.セレクト	3品から選択 3品から選択	25日.29日
9月	グループ懇談会	聴いてほしい事をしゃべろまいか	23日
	運動会	2チームに分かれて競技を競う	29日
	セレクト	3品から選択	27日
10月	五平餅会食	焼きたての五平餅を食べる	19日
	外食会（日帰り旅行代替え）	5グループに分かれてテイクアウト弁当	14.17.20.27.31日
	セレクト	2品から選択	24日
11月	工作	クリスマス飾りを作る	30日
	プチサロン	肩.ハンドマッサージでリフレッシュ	29日
	紅葉ドライブ	お茶お菓子を持って紅葉狩り	8.14.22日
	季節の入浴	ゆず湯を楽しむ	21日
	リクエストおやつ.セレクト	3品から選択	24・25日
12月	忘年会看板作り	花のリース作り	8日
	忘年会	手品.歌謡ショー 小劇などで楽しむ	13日
	門松作り	個々に制作し居室に飾る	27日
	ネイルサロン	マニキュアを塗っておしゃれを楽しむ	29日
	セレクト	2品から選択	26日

	餅会食	つきたての餅を楽しむ	28日
1月	初詣	施設内で神事 おみくじ引きをおこなう	6日
	工作	奴さん・凧作り	24日
	リクエストおやつ	十日市に合わせてたい焼きを提供	10日
	かるた大会	絵合わせかるたで楽しむ	24日
2月	書道・絵画教室	好きな方に参加し楽しむ	9日
	レクリエーション	ストレッチ体操・ゲームでリフレッシュ	16日
3月	グループ活動	好きな方に参加し楽しむ	13日
	つるし雛飾見学	苗木公民館に飾られた吊るし雛を見学	13日
	工作	お雛様を作り自室に飾る	21日
	清和喫茶	支援員がオーダーを取り、模擬喫茶店	29日
	セレクト	2品から選択	31日
毎月	誕生会	当月の入所者に祝い金と食事ですらう	
	貴方の夢叶えます。	個人対応で小さな希望を叶える	

#### 職員研修等

日	研修内容	実施機関
6月23日	知って助かるリスクマネジメント研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
7月1日	介護職が知っておきたい医学知識基礎講座	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
7月26.27日	中堅職員研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
8月1日	特定給食施設等関係者研修会	恵那保健所
8月3.4日	初任者研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
8月23.24日	チームリーダーコース研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
8月29日	災害時に役立つ介護技術研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
9月11日	失敗を次につなげる問題解決スキルアップ研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
11月3日	私も学びたいアンガーマネジメント研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
11月4～8日	社会福祉施設長資格認定講習課程	中央福祉学院
11月30日	ワンチームでターミナルケア研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
1月16日	高齢者の食と健康対策研修	恵那保健所
回数	会議・施設内勉強会等	実施機関
年4回	感染症対策委員会	看護師・主任支援員・栄養士・支援員・副施設長
年4回	感染対策勉強会（実践）	出勤職員
毎月	給食会議	日清栄養士・栄養士・ゆうわ苑・副施設長
毎月	処遇会議	支援員・出席できる多職種職員
年4回	安全管理委員会	支援員・出席できる多職種職員





## 令和4年度 中津川市デイサービスセンターゆうわ苑 事業報告

近年、中津川市内に複数の新規通所介護事業所の開設で、通所介護事業所が飽和状態となり利用者獲得が苦戦すると予測される中、令和4年度計画数4,180名、稼働率75.4%の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した事業所や、通称「お泊りデイ」なる宿泊可能な事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられています。「苑の存続の危機」であるという危機感を持ち利用者の増員をはかるため、「ゆうわ苑でもできる事」を職員間で知恵を絞り、口腔機能向上のために食前の口腔体操の実施や、機能低下予防のためにレクリエーション前の機能低下予防体操を取り入れ、希望者には機能訓練指導員を中心に3mの歩行バーを用いた歩行機能の向上訓練や油圧マシンでの機能低下予防の支援の取り組みを継続し好評を得ています。また、平成27年4月の介護保険改正より新たに加算要件となった、「中重度ケア体制加算」「認知症加算」や、令和3年度より始まった「科学的介護推進体制加算」も取得を継続しています。新たな取り組みとして、利用者やご家族、介護支援専門員に対して、ホームページやInstagramでゆうわ苑のレクリエーションや機能訓練の取り組みを紹介し、顧客満足度向上や新規受注に注力しました。

しかし、コロナ過での休業や利用控えもあり収益改善には至りませんでした。令和4年度目標4,180名に対して実績数3,606名、達成率65.0%と目標未達でした。

令和5年度も、通所介護事業所同士の利用者獲得競争や、お泊りデイやショートステイなどと通所介護事業所を併用される利用者の増加影響を考えると、安定した稼働率の維持は難しく、なお一層の売上獲得の方策が必要と考えます。また、5年後10年後を視野に入れた人材発掘・人材育成を計画的におこなうことが急務であり、2024年の介護報酬の改定に向けて、「体制を評価する加算」から「実施した内容を評価する加算」へとシフトして来ているようにも感じられます。今後の動向に注視しながら新型加算方式について、乗り遅れない方策が急務です。

ゆうわ苑は、開所より33年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われれます。今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、利用者・家族・介護支援専門員より選ばれる施設となるよう、利用者確保に努めてまいります。

令和4年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500131			定 員 (A)		18人		総合事業 A6有
事業所名	デイサービスセンターゆうわ苑			3月利用実人員		46人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年末年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  ※1認知症加算は個別加算の為 対象者のみ加算  ※2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080
	入浴加算			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化加算 (I)イ	880	1,760	220	220	220	220	220
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	※1 認知症加算 (個別加算の為含めず)			600	600	600	600	600
	介護職員処遇改善加算(I) 介護職員特定処遇改善加算(I) 介護職員等ベースアップ等支援加算	1,443	2,955	703	815	931	1,046	1,160
	※2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
利用料日額÷合計	19,043	38,995	9,993	11,475	13,001	14,516	16,030	

要支援は一か月単価表記

	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比較	苦情	
				令和4年度	令和3年度
稼働日数	308日	309日	-1	0	0
平均年齢	84.6歳	84.3歳	0.30		
男女別人員	男1656人 女1950人	男1600人 女1768人	-		
平均介護度	2.9	3.0	-0.1	第三者委員へ報告数	
要支援Ⅰ	0	0	0		
要支援Ⅱ	164人	132人	32		
要支援合計	164人	132人	32		
要介護Ⅰ	526人	376人	150		
要介護Ⅱ	835人	1,104人	-269		
要介護Ⅲ	918人	551人	367		
要介護Ⅳ	485人	507人	-22		
要介護Ⅴ	678人	698人	-20		
要介護合計	3,442人	3,236人	206	職員等の状況	
年間総合計	3,606人	3,368人	238	管理者	1
年間総定員	5,544人	5,562人	-18	相談員	1
稼働率	65.04%	60.55%		介護士	5.5
計画数	4,180人	4,185人	-5	看護師(機能訓練)	1.5
達成率	86.27%	80.48%		支援	0.5

事故	
令和4年度	令和3年度
0	1
保険適用件数3件	

令和4年度 利用者年間行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】	実施期間	延参加人数
4	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	19日-21日	27名
	花見ドライブ	桜の名所めぐりドライブ 季節を感じていただく(晴天時に桜や花桃)	1日-7日 12日16日20日	73名
5	花見ドライブ	薔薇の見学ドライブ 季節を感じていただく	19日-31日	35名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	25日-27日	35名
6	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	21日-23日	33名
	花見ドライブ	百日紅(さるすべり)の見学ドライブ 季節を感じていただく	25日-30日	14名
7	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	25日-26日	35名
	夏祭り	施設内にて、祭りの雰囲気を楽しんでいただく	12日	13名
8	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	24日-26日	37名
	防災訓練	防災意識の向上と、安心安全な運営体制の確認	2日	13名
9	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする	19日	13名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	20日-22日	30名
10	収穫祭	新米の収穫を祝い郷土料理の芋餅を食べる	臨時休業の為 未実施	0名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	26日-27日	20名
11	紅葉ドライブ	モミジやイチョウなど紅葉の名所を巡るドライブ	17日-19日 21日	32名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	23日-25日	36名
12	クリスマス会	クリスマスビンゴゲームをおこない、季節感を感じていただく	23日	16名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	21日-23日	37名
1	初詣	近くの神社、仏閣に参拝	5日-6日	25名
	初釜喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	10日-12日	24名
2	節分	季節行事・豆まきをおこない、無病息災祈願	3日	14名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	22日-24日	30名
3	桃の節句	ひな人形飾り 苑内展示4/3迄	2/6日	13名
	苑内喫茶	ご自分で選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく	15日-17日	39名
年間通して		音楽療法(毎月1回)・ソロバン教室(毎月1回)コロナ過のため見合わせ 口腔体操(毎日)・機能低下予防体操(毎日)		

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供(月初めに計画)

※生活に則した機能訓練や油圧マシン・歩行バーでの歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供



令和4年度 五常会ケアプランセンター中津川 事業報告

R5/3/31 現在

1 介護支援専門員の状況

介護支援 専門員数	3 人	内 訳	常 勤	専従	2 人	非常勤	専従	0 人
				兼務	1 人		兼務	0 人

2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
4月	24	1.0	24
5月	25	1.0	25
6月	32	2.0	16
7月	34	2.0	17
8月	43	2.0	22
9月	48	2.0	24
10月	47	2.0	24
11月	52	2.0	26
12月	61	2.0	31
1月	56	2.0	28
2月	54	3.0	18
3月	63	3.0	21
合計	539	24.0	22

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	粟田	川村	松瀬	合計
年間件数		365件	171件	3件	539件
新規件数		38件	19件	1件	58件

終了件数(人)	入所等	1件	死亡	15件	変更	12件	合計	28件
---------	-----	----	----	-----	----	-----	----	-----

(変更=居宅支援事業所変更 : 予防給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

〈介護度別利用者数の割合〉

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護 3~5の割合
43 %	21 %	26 %	1 %	1 %	36 %

(小数点以下四捨五入して記載)

3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費 (I) を算定 (取り扱い件数40未満)	要介護 1・2	10,760円/月
	要介護 3・4・5	13,980円/月

(下段は令和1年10月報酬改定後単価)

提供月	介護度別件数		支援費	介護度別件数			支援費	支援費合計
	介護1	介護2		介護3	介護4	介護5		
4月	10	2	129,120	7	2	1	139,800	268,920
5月	11	4	161,400	9	2	1	167,760	329,160
6月	13	7	215,200	9	2	1	167,760	382,960
7月	15	10	269,000	10	2	1	181,740	451,640
8月	19	10	312,040	12	4	1	237,660	549,700
9月	20	10	322,800	10	4		195,720	518,520
10月	23	11	365,840	12	3		209,700	575,540
11月	24	14	408,880	16	5		293,580	702,460
12月	26	13	419,640	16	5		293,580	713,220
1月	24	9	355,080	14	7		193,580	548,660
2月	26	12	408,880	14	8		307,560	716,440
3月	26	12	408,880	15	7		307,560	716,440
合計	237	114	3,776,760	144	51	5	2,696,000	6,473,660

4 加算・減算の適用について  
(加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	単位	円	件数	加算額
特定事業所加算Ⅲ	300	3,000	120	360,000
初回加算 (初回または2段階変更)	300	3,000	58	174,000
入院時情報連携加算Ⅰ	200	2,000	0	0
入院時情報連携加算Ⅱ	100	1,000	0	0
退院・退所加算	450	4,500	0	0
緊急時居宅カンファレンス加算	200	2,000	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	300	3,000	0	0
ターミナルケア加算	400	4,000	0	0
加算額合計				534,000

(減算の状況)

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われない場合、所定単位数×0.5を算定

運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

特定事業所集中減算が適用される場合

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

●訪問介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社 ビジュアルビジョン		(事業所) けあビジョンホーム中津川	
年間	71	15	21.1%

●通所介護において、紹介率が最も高い法地域密着型通所介護の件数を含む

期間	通所介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) ゆうわ苑DSC	
年間	154	75	48.7%

●福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人

期間	福祉用具貸与が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)		(事業所)	
前期			
(法人名) 株式会社 ユーワン		(事業所) 株式会社ユーワン	
後期	199	122	60.3%

5 介護支援専門員資格の状況

(令和5年3月31日現在)

粟田信二	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 9年 11月 29日〕 主任介護支援専門員更新研修修了 〔 修了年月日 : 令和 3年 7月 2日 〕 〔 研修機関名 : 愛知県シルバーサービス振興会 〕
川村貴子	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 6年 1月 14日〕
松瀬明里	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 9年 9月 26日〕





令和4年度  
事業報告書



福岡デイサービスセンター  
福岡ショートステイ事業所



## 令和4年度 拠点福岡 事業報告

## 通所介護事業

## 《通所介護・第一号通所サービス》

令和4年度は目標計画数5,100件に対して実績5,132件と達成率100%で稼働率も目標値79%で達成に至りました。今年度の傾向としまして、利用者からの紹介による新規利用者の獲得につながる事例が数件ありました。しかし入所や入院など重なり、更なる稼働率の向上には至りませんでした。事業収入では施設の老朽化による修繕や送迎車入れ替えなど費用が重なり、昨年度より減収となっています。

稼働率向上のため、年間行事や日中の取り組みの様子などを掲載したパンフレットを活用し、各居宅介護支援事業所に当事業所のアピールツールとして配布しました。またSNSの活用としてホームページの更新を適時おこない、情報発信をおこないました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で当事業所の事業停止に伴い、利用者や介護支援専門員、関係機関に迷惑をかけてしまいましたが、居宅介護支援事業所を中心として各事業所同士で情報共有に努め、介護者や職員による感染予防の徹底にて最小限の感染拡大に留めることができました。今後も連携をはかりながら、感染予防を徹底した取り組みに努めます。

利用者のADLの維持・向上の取り組みとして、午前中は脳トレや足漕ぎ運動・血流促進マッサージを取り入れ、午後からは口腔体操やリハビリ体操・リズム体操など楽しみながら取り組めるプログラムの提供をおこないました。同時に、入浴や食事提供時・体操やレクリエーションなど様々な場面での利用者の心身・身体の状態の把握に努め、常に介護者や介護支援専門員・関係機関等と連携・協働しながら、利用者の在宅生活が継続できるようアプローチしました。社会性の維持・向上を目的として、コロナ禍でできる季節行事や外出行事を企画し、感染予防をはかりながら、利用者を楽しんでいただけるレクリエーションの提供をおこないました。

地域貢献事業では地元ボランティアの受け入れや11月に3年ぶりの地域の文化展の開催に向けて、利用者と職員が一丸となって作品作りに取り組みました。また地域ケア会議や介護者の集いなどにも積極的に参加しました。今後も感染予防をはかりながら、地域貢献に向けた様々なニーズを積極的に取り入れ、地域に根付いた事業所を目指します。

職員の介護の質の向上として感染対策や認知症に関するWEB研修や介護技術の伝達研修などに積極的に取り組みました。業務改善として、老朽化した送迎車両の入れ替えをはかり、乗り心地や安全面の改善につながりました。また記録業務の効率化をはかり、利用者との交流の場を増やすことができました。今後も更なる改善策を見出し、よりよい支援を目指した事業展開をおこないます。

## ショートステイ事業

### 《基準該当（介護予防）短期入所生活介護》

今年度は計画数 624 件に対して実績数 627 件で達成率が 100%・稼働率 81%と昨年度の稼働率より 3%の増加となりました。引き続き新規利用者獲得のため、パンフレットや SNS を活用し、営業促進をはかっていきます。

短期間利用や「慣れた施設や身近に感じる施設からショートステイを利用させたい」とのニーズもあり、新規及び定期利用につながっています。今年度も利用者同士のお誘いにてご利用に至ったケースもありました。

デイサービス併設の特徴を生かして、色々な方との交流ができ「また利用したい」という声を目指して取り組んできました。その結果、ショートステイ利用による介護者の介護負担の軽減に結びついたと思います。

感染予防をはかりながら、家庭的な雰囲気をモットーに個々の生活習慣の尊重・健康管理の重視に努め、介護支援専門員や介護者との連携も密におこないました。また生活リハビリとして、洗濯たたみや掃除などの家事を取り入れ、在宅生活を維持・支援できる事業所を目指しました。今後も利用者・介護者のニーズに添え、地域に根差した事業所を展開していきたいと思えます。

令和4年度 稼働状況等報告

指定番号	2172000669			定 員 (A)		25人		総合事業 A6有
事業所名	福岡デイサービスセンター			3月利用実人員		58人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～金(年末年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	6,550	7,730	8,960	10,180	11,420
	入浴介助加算Ⅰ			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化加算Ⅱ	720	1,440	180	180	180	180	180
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1,029	2,107	421	490	563	635	708
	介護職員特定処遇改善加算(Ⅰ)	209	429	86	100	114	129	144
	ベースアップ等支援加算	192	393	78	91	105	118	132
	※2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額÷合計	18,870	38,649	8,435	9,711	11,042	12,362	13,704

要支援は一か月単価表記

	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比較
稼働日数	258日	258日	0
平均年齢	88.54歳	88.48歳	0.06
男女別人員	男1,177人 女3,955人	男1,478人 女3,744人	-
平均介護度	2.3	2.4	-0.1
要支援Ⅰ	177人	75人	102
要支援Ⅱ	98人	14人	84
要支援合計	275人	89人	186
要介護Ⅰ	1,317人	1,602人	-285
要介護Ⅱ	1,369人	1,810人	-441
要介護Ⅲ	990人	556人	434
要介護Ⅳ	914人	718人	196
要介護Ⅴ	267人	447人	-180
要介護合計	4,857人	5,133人	-276
年間総合計	5,132人	5,222人	-90
年間総定員	6,450人	6,450人	0
稼働率	79.57%	80.96%	-1.39%
計画数	5,100人	5,100人	0
達成率	100.63%	102.39%	-1.76%

苦情	
令和4年度	令和3年度
0	0
第三者委員へ報告数	

事故	
令和4年度	令和3年度
2	1
保険適用件数	

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	2	
介護士	2	2
看護師(機能訓練)	1	1
栄養士	1	

令和4年度 稼働状況等報告

指定番号	2181500063			定 員 (A)		3人		予防有
事業所名	福岡ショートステイ事業所			3月利用実人員		17人		
運営時間	月曜日8時30分～金曜日17時30分			稼働日		月～金(年末年始を除く)		
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	一日あたりの基本料金	4,740	5,890	6,380	7,070	7,780	8,470	9,160
	送迎加算(往復)	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680
	サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	60	60	60	60	60	60	60
	短期入所処遇改善加算(Ⅰ)	704	799	840	897	956	1,013	1,071
	短期入所特定処遇改善加算(Ⅱ)	195	221	233	249	265	281	297
	短期入所ベースアップ等支援加算	136	154	162	173	184	195	206
	滞在費	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
	朝食・昼食・間食・夕食	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
	利用料日額合計	12,066	13,356	13,906	14,680	15,476	16,250	17,024

	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比較
稼働日数	257日	258日	-1
平均年齢	89.77歳	88.8歳	0.97歳
男女別人員	男156人 女471人	男125人 女534人	-
平均介護度	2.5	2.7	-0.2
要支援Ⅰ	0	0	0
要支援Ⅱ	0	0	0
要支援合計	0	0	0
要介護Ⅰ	145人	68人	77
要介護Ⅱ	237人	252人	-15
要介護Ⅲ	83人	152人	-69
要介護Ⅳ	87人	60人	27
要介護Ⅴ	75人	77人	-2
要介護合計	627人	609人	18
年間総合計	627人	609人	18
年間総定員	771人	774人	-3
稼働率	81.32%	78.68%	3%
計画数	624人	663人	-39
達成率	100.48%	91.86%	9%

苦情	
令和4年度	令和3年度
0	0
第三者委員へ報告数	

事故	
令和4年度	令和3年度
0	0
保険適用件数	

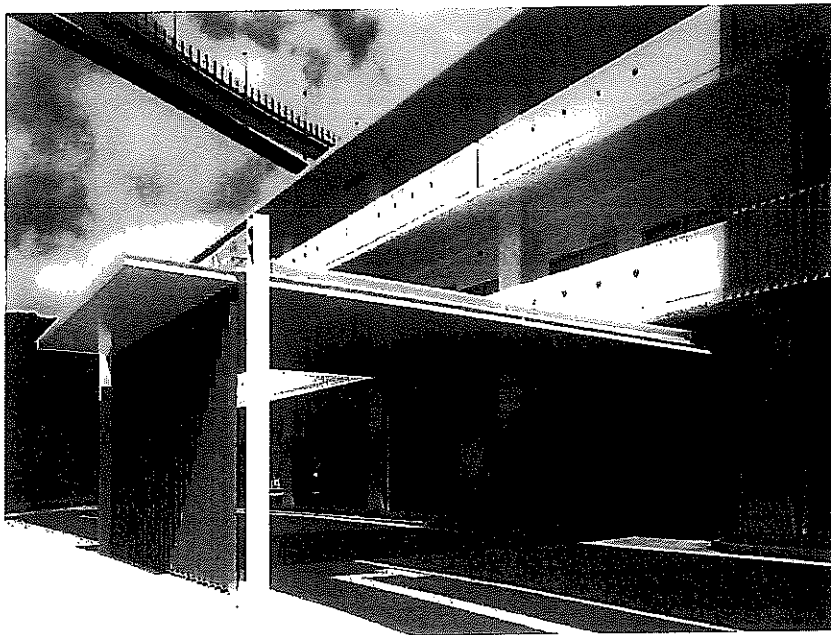
職員等の状況		
全員デイ兼務		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	2	
介護士	2	2
看護師(機能別線)	1	1
栄養士	1	

月	行事名	内容	実施期間	参加人数
4	花見ドライブ	桜の名所を巡りドライブ 季節を堪能していただく	4～8	91名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	27～29	61名
5	カラオケ大会	新型コロナウイルス直近の感染拡大のため中止		0名
6	郷土食（朴葉寿司）	地元の郷土料理を堪能〈全利用者対象〉	5/30～3	116名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	24～30	105名
7	消防訓練・避難訓練	火災時及び地震時における初動訓練・避難訓練	8	職員9名
	七夕会食・短冊作り	七夕をイメージした会食の提供と短冊作りや飾り付けをおこない、季節感を味わっていただく	1～3 6・7	117名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～29	113名
8	夏祭り	屋台にて出し物（金魚すくい・輪投げ・ひも引き）をおこない、雰囲気味わって楽しんでいただく	29～9/2	106名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～31	110名
9	敬老週間・敬老会食	喜寿・米寿・白寿の方にお祝いをおこなう。 また、日頃の感謝を込めて会食を提供し、レク時に職員による演芸を披露。コロナ感染予防のため、日程を短縮	21・26・27	白寿1名 米寿2名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	26～30	89名
10	運動会	施設内にて2チームに分かれ、当時の競技を取り入れながら回想して楽しんでいただく	11～15	97名
11	手作りおやつ	感染予防をはかりながら、おやつ作り（スイートポテト）をおこない、生活リハビリとして取り組んでいただく	17・21～23	81名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	24～30	96名
12	消火器訓練・救命講習	北消防職員を講師として招いて、救命や消火の基礎知識と技能の習得（職員のみ参加）	2	職員10名
	鍋会食・花餅作り	年内最後の行事として鍋料理を堪能。花餅作りは利用者に参加していただき、年越しの雰囲気味わっていただく 〈全利用者対象〉	16・19～23 26～29	99名
1	初詣ドライブ	新年を迎えて、近隣の神社仏閣への参拝 （感染予防のためドライブ形式にて）	9～13	42名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～31	86名
2	節分	季節行事・鬼に扮したスタッフに豆まきをおこない、無病息災祈願〈全利用者対象〉	1/30～2/3	92名
	寿司会食	目の前で握りたてのお寿司の味を堪能していただく	16・17 20～22	95名
3	手作りおやつ	感染予防をはかりながら、おやつ作り（たこやき）をおこない生活リハビリとして取り組んでいただく	9・10 13～15	109名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気味わいながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	27～31	100名
年間を通して		お誕生日会（毎月）・口腔体操（毎日）・機能低下予防体操（毎日） 温泉入浴（毎月）・脳トレ（毎日）他		





令和4年度  
事業報告



社会福祉法人 五常会  
特別養護老人ホーム  
みずなみ瀬戸の里

11

12

## 令和4年度 特別養護老人ホームみずなみ瀬戸の里 事業報告

令和4年7月より施設長の交代とともに組織体制を整え、業績改善への取り組みをしてきました。

稼働率につきましては目標を97%とし取り組んだ結果、目標を達成することができましたが、大変厳しい経営状態であり次年度は更に高い稼働率を目標に掲げ達成できるよう努めてきます。

また、新たな加算の取得を進め、引き続き黒字に向けて取り組みます。

空室利用型ショートの利用においても市内外のケアマネ部会に参加させていただきPR活動に力を入れ、少しずつ利用が増えました。今後は固定利用者を増やせるように進めてまいります。

今年度も、コロナ禍での入居者の安全、安心を守りつついかに認知機能、身体機能を維持するかという課題を抱えながらケアに取り組みましたが、12月末から入居者6名・職員5名の計11名のクラスターが発生し、約1ヶ月間入居者職員ともに耐えることになりました。その後は、感染拡大の再発防止に取り組みながら事業を進めてまいりました。

令和3年度からの介護ロボット導入で眠りスキャンやDFreeなどを活用し、職員の負担の軽減や入居者のケアに役立て、さらにパットの見直しにも取り組みました。

人材においては、コロナ禍の関係で外国人の人材が一挙に増え、育成を進めながら事業拡大や安定した職員確保に取り組みました。

身体拘束において、2名の拘束者の解除を検討しながら身体拘束者ゼロを目指し、11月より身体拘束者はゼロを達成しました。身体拘束者ゼロを続けることはもちろんのこと虐待防止においては研修実施や啓発など施設全体で取り組みました。

5年度も施設理念に沿い、ユニットケアを進めながら選ばれる施設になり、地域福祉の拠点となるよう職員一丸となって努めてまいります。

入居状況

3月末現在

(歳)

区分		男	女	合計
入居者数		8	70	78
年間	入所	5	26	31
	退所	8	25	33

	男	女
最高年齢	94	104
最小年齢	69	78
平均年齢	87	91.2
	90.7	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		1	2	3	2	3	4	2	3	4	4	2	1	31
内訳	在宅					1		1	2	1	2	1		8
	病院			1			2	1		2		1		7
	老健他	1	2	2	2	2	2		1	1	2		1	16
退所者		1	2	3	4	4	3	0	4	5	3	1	3	33
内訳	死亡	1	1	2	3	3	2		1	4	3	1	3	24
	入院		1	1	1	1	1		1	1				7
	家庭復帰													0
	その他								2					2

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	0	313	7,166	12,278	8,017	27,774
今年度	8	221	7,611	12,549	7,947	28,336

平均要介護度	4.0
--------	-----

定員	29,200人	稼働率	97.04%
----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
4	1	4	17	32	18	2	0

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
42	28	8		15	23	32	8		78

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
3	15	0	0	0	19	3	35

※「転倒・ざり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
1	0	1	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	1	1

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活 相談員	介護支援 専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練 指導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1	0	1	1	46	3	2	1	3	1	59
非常勤(B)		1		2	5	2			1	4	15
非常勤の 常勤換算(C)		0.2		0.7	3.5	1.3			0.6	2	8.3
(A)+(C)	1	0.2	1	1.7	49.5	4.3	2	1	3.6	3	67.3

※厨房業務⇒グリーンハウスに業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	3 人
介護福祉士	28 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	5 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													0
支援2													0
介護1				2									2
介護2			1										1
介護3									1	1		1	3
介護4	1							2	1				4
介護5				1	1	1	1						4
合計	1	0	1	3	1	1	1	2	2	1	0	1	14
昨年度利用状況									7			5	12

行事報告

5月	花見ドライブ	各ユニットで、桜の花を見にドライブに出かけました
8月	納涼夏祭り 21日花火大会	コロナ禍で、前年は各ユニットでの納涼まつりをやりましたが、今年はそれに加えて夕涼みを兼ね花火を全員で見ました
9月	9/24～10/20日 敬老週間	各ユニットで、喜寿・米寿・白寿・百歳以上の方がちゃんちゃんこを着てユニットの方々でお祝いし家族会からの栗きんとんを食べていただきました
10月	26日 開園16周年記念	開園16周年を記念して、入居者のリクエストに応じて各ユニットで行事食を食べてお祝いしました
12月	24日・25日 クリスマス会	各ユニットでクリスマス会を実施。入居者の皆さんにプレゼントを渡し、クリスマスケーキを食べました
12月	27日 餅つき	今年は花もちを各ユニットで作り季節を感じてもらいました
2月	各ユニットで行事	節分の豆まきをユニットごとで実施 その他ユニットごとにお弁当を取ったり入居者さんとおやつを作って食べたり、映画鑑賞したりしました

※各ユニット、入居者の誕生日会を実施

会議・委員会の開催

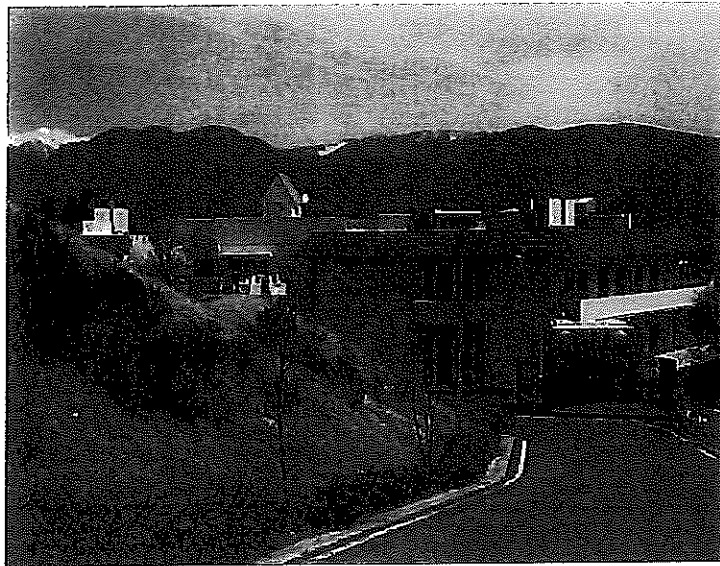
会議	職員会議	月一度、各ユニット・各セクションが集まりケアの共有や情報の共有と意見交換、周知事項など
	リーダー会議	各ユニットのリーダーが集まりケアの充実、情報の共有と問題点等の協議
	ユニット会議	毎月ユニット内でのケアの統一やユニットの問題点について話し合い
	担当者会議	月1度各ユニットで会議の日を決め実施 入居者の担当者を決め、個別ケアに向けての会議を実施
委員会	身体拘束委員会 虐待防止委員会 事故防止委員会	施設内での事故・身体拘束の状況を共有するとともに廃止に向けて検討
	褥瘡委員会	褥瘡にならないように多職種で検討することや褥瘡スクリーニングへの取り組み 車椅子のクッションやポジショニングの研修実施

	感染症委員会	主にコロナウイルス感染予防及び感染対応の検討 発熱時の対応マニュアル作成 ノロウイルス・食中毒等に感染しないよう予防策・対応策を周知徹底する
	防災委員会	災害時の防災に対し、いざという時の対応方法をマニュアル化し実施研修を行う
	排泄委員会	DFreeの活用により、排泄介助のタイミングやパットの交換を把握、パットの見直し検討
	介護・看護技術委員会	新人教育の確立 指導者マニュアルの作成を検討 外国人の教育方法の検討
	防災委員会	停電時のベッドの動かし方や外国人への周知 BCP計画の策定検討
	口腔委員会	口腔物品の管理や個人の必要物品の選定 歯科衛生士との座談会の実施
研修会	内部	6/25 口腔研修 6/26～7/2 身体拘束研修 7/7.8 褥瘡研修 11/29 褥瘡研修 11/29 身体拘束研修 8/1～8/7 ヒヤリハット研修 2/10～22 危険予知研修 2/22・3/8 ポジショニング研修 3/22 口腔研修
	外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症基礎研修・実践者研修・実践リーダー研修</li> <li>・安全対策担当者研修</li> <li>・事故防止研修</li> <li>・高齢者権利擁護推進員養成研修</li> <li>・褥瘡研修</li> <li>・ハラスメント研修</li> <li>・虐待防止研修</li> <li>・心理学研修</li> <li>・キャリアパス生涯研修</li> <li>・看取り研修</li> </ul>





令和4年度  
事業報告書



社会福祉法人五常会  
特別養護老人ホーム ニツ森  
ニツ森ショートステイ  
ニツ森デイサービスセンター  
ニツ森居宅介護支援センター



## 令和4年度ニツ森拠点の目標、職員の行動に関する重要な柱「価値観」

2004年1月の開設から19年が経過した。開設20周年を目前に、①拠点の持続可能な経営（予算統制）、②施設の老朽化対策、③職員の確保・定着を目的とした働き方改革を推進し、拠点活動の在り方・目標を一新、2019年度（令和元年度）より「ニツ森スタンダード5年」を設定、4年目の事業を展開した。令和5年度がスタンダード5年目、仕上げの年度である。

『地域の皆様から期待され愛される福祉拠点でありたい』

- ・「気づき」と「優しさ」を以ってすべてのことにあたり、福祉の専門性を高めます。
- ・「あいさつ」と「コミュニケーション」を大切にし、人としての総合力を高めます。
- ・「介護のプロ」であることに自覚と誇りを持ち、地域福祉の安心安全に貢献します。

『新型コロナウイルス感染症感染者に対する倫理方針』

- ・私たちニツ森職員は、利用者、職員、その家族の健康と命を守るとともに、人権を尊重し、感染症の陽性者及びその関係者への不利益及び差別的な扱いを決して致しません。ニツ森ではそのような扱いを禁止します。

## 令和4年度 ニツ森拠点の事業概況

2011年度(平成23年度)末の現金資金残高を最高に、以降は増加3回、減少9回となり、残高は大きく減少している（最高残高の57.8%まで減少）。現時点で資金的に余力はなく、想定外な重大事象が起きた場合は自己再生できない可能性がある。それを回避すべく開設20年までの5年間で損益体質並びに職員力を強化し、施設経営の安定を目指している。

今期の拠点全体の事業成績は資金収支ベースでは若干の赤字となったが、事業活動ベースでは黒字となった。事業別稼働率を見ると、ショートステイは新型コロナウイルス感染症の影響が大きく厳しい結果となったが80%超はキープ、特養は計画達成（損益分岐点の97.5%超）、デイサービスは80%超を達成するなど大きく業績を回復、居宅は3名体制が軌道に乗り特定事業所加算Ⅲの取得など拠点総収入は増加となった。

各種補助金（介護サービス事業所等食材料等軽減支援負担金、社会福祉事業所物価高騰支援交付金、高齢者施設等光熱費高騰対策支援金、介護ロボット導入補助金等総額約300万円）も損益に大きく貢献した。

経費では、水道光熱費は前年比127.2%（4,726千円増）と利益を大きく圧迫したが、多くの経費で前年を下回った。大きな修繕が発生しなかったことも好転要因だが、物品購入や投資など必要最低限に留めるなど、経費節減に努めた。

ただし損益体質が根本的に改善したのではなく、昨年度に続いての連続赤字を避けるべく令和4年度の第一目標を損益改善（黒字）としており、様々な予算統制を時には強引に行った経緯もある。“黒字にはなる”。しかし達成できなかった目標や見送った事業もあり、最たるもの

は人事戦略が十分に機能していなかったことではないだろうか。人事課題を後回しにしたつもりはないが、退職者充当不調、複数名の休業、退職希望などに加え有給休暇の必要数未取得、月間時間外労働の45時間超過など働き方改革の停滞など課題は多い。介護現場では感染対策やスケジュールに追われており、体力やメンタルにダメージを受けないような配慮や気遣いも必要である。

これら課題を踏まえ令和5年度は、損益、人事戦略課題、施設老朽化対策の3点すべてに結果を出すべく拠点経営に尽力する。

令和4年度の損益結果は以下のとおりである。

1.収入と稼働率 (単位：千円)

サ区分	収入	前年	差異	前年比	稼働率	前年	前年比
特養	279,008	268,502	+10,506	103.9%	97.58%	95.48%	102.2%
S S	21,622	23,375	△1,753	92.5%	82.36%	90.85%	90.6%
D S	28,080	23,840	+4,240	117.7%	82.35%	67.15%	122.6%
居宅	13,207	9,473	+3,734	139.4%	976件	820件	119.0%
合計	341,917	325,191	+16,726	105.1%			

2.人件費(拠点計)

人件費計前年差異 +2,864 職員給料+5,776、非常勤給与△2,405、派遣△846

3.事業費・事務費増(拠点計)

事業費前年比 +6,098 給食+702、介護用品△902、水光熱+4,726、消耗器具+641  
 事務費 ” △3,877 事務消耗△669、修繕△2,432、手数料△1,087

4.差額(拠点計)	当期	R3年度	R2年度	R1年度	30年度	29年度
資金収支差額	△58	△12,221	5,933	△1,122	△7,416	△2,864
事業活動差額	7,527	△6,097	7,318	△1,612	△4,951	4,657

以上

## 令和4年度 特別養護老人ホームニツ森 事業報告

ニツ森拠点は特養を主事業とし、小規模ながらもショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業を兼ね揃え、在宅を支えている。各サービス区分の損益は、ショートステイはわずかではあるが黒字、デイサービス・居宅介護支援事業は共に赤字でそれを特養が支えるといった構造となっている。拠点全体を黒字化させるためには特養の安定経営が重要であり、稼働率97%以上、経常増減差額1,000万円以上を最低限の達成基準としている。当年度の特養は、

	実績	目標	達成率
稼働率	97.58%	97.0%	100.6%
経常増減差額	14,744千円	10,000千円	147.4%

となり計画どおり、デイサービス・居宅介護支援事業の損益を補填することができた。ニツ森拠点の損益構造を維持した。

好転要因は、稼働率向上による増収並びに物価高騰支援等の補助金の増収である。昨年度退所者は19名と過去最大数となり稼働率を大きく低下させたが、当年度は例年並みの8名の退所となり、また入院日数も引き続き少なく推移した。ただし、退所後の次入所までの期間が一ヶ月弱を要したケースもあり、課題を残した。諸事情を考慮しても、人員体制が整わないことにより入所者選定の妨げとなっていたこともあり、改善を要す。

サービス活動収益計 当期 279,008千円、昨年 268,503千円、差+10,506千円(103.9%)

人員については正規介護職（夜勤）2名の補充を計画しスタートしたが、更に2名の退職があった。一ヶ月以上休業者も複数名でいる状況もあり補充を急いだが不調が続き、期中の中途採用者はゼロに終わった。ただし、1月に瀬戸の里デイサービスから1名の異動増、高卒新卒者1名の内定が決まったことがせめてもの救いとなったが、引き続き2名の補充を急ぎたい。

人件費 当期 184,902千円、昨年 183,417千円、差+1,485千円(100.8%)

経費については感染対策費用は若干増程度に抑えてはいるが、仕入れ単価の値上げが重なり、サービス提供に直接関係する事業費、諸材料の仕入れ総額は全体的に増加した。中でも電気代の高騰による水道光熱費の増加は損益を直撃した。事務費は比較的大きな修繕事案がなかったこともあるが、購入・代替・投資等は最低限に抑え、前年を大きく下回った。内訳は、

事業費 当期 47,659千円 昨年 42,868千円 差+4,791千円 (111.1%)

事務費 当期 27,680千円 昨年 30,310千円 差△2,630千円 (91.3%)

前年比 水道光熱費+3,795千円 (127.6%)、修繕費△2,178千円 (55.3%)

## 新型コロナウイルス感染症について

職員の感染者は複数名あったが、施設内への影響はなく3年間特養利用者の感染はゼロ。医務室を中心とした感染対策チームの徹底した準備と日々の対策、職員感染者発生時や熱発者発生時の初動対応が不足なく実行されている。本当に良くやってくれており、その仕事ぶりには感動する。利用者の安心安全な生活のみならず、働く職員の安心安全にもつながっている。

以上

入居状況

3月末現在

(歳)

区分	男	女	合計
入居者数	8	45	53
年間	入所	9	9
	退所	8	8

	男	女
最高年齢	88	102
最小年齢	72	65
平均年齢	82.8	89.9
	88.8	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所		1	1			2	1	1			1	2		9
内訳	在宅		1			1	1							3
	病院													
	老健他	1				1		1			1	2		6
退所者					2			1		3			2	8
内訳	死亡				2					2			1	5
	入院									1			1	2
	家庭復帰							1						1
	その他													

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度			2,826	8,608	7,719	19,153
今年度	32	547	2,975	8,718	7,308	19,580

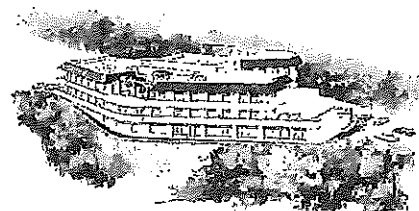
平均要介護度	4.2
--------	-----

定員	20,075人	稼働率	97.53%
----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
	3	1	4	17	3	25	



食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	軟飯	粥	ミキサー	常食	ぎざみ	極ぎざみ	ミキサー	経管	
6	12	21	13	13	7	19	13	1	53

※副食・常食に『一口大』含む

事故報告状況 (特養・ショートステイ)

(延べ件数)

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
0	6	0	5	1	12	0	623

※「転倒・ざり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数 (特養・ショートステイ)

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況 (特養・ショートステイ)

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
1	0	0	0

従事者の状況 (特養・ショートステイ兼務)

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1		1	1	23	3	1	(1)	2			32
非常勤(B)		2			11	2					4	19
非常勤の常勤換算(C)		0.1			6.4	1.6					2.1	10.2
(A)+(C)	1	0.1	1	1	29.4	4.6	1	(1)	2		2.1	42.2

※機能訓練指導員は看護職員兼務のため合計数には含めず

※厨房業務⇒日清医療食品に業務委託

有資格者数 ※ニツ森拠点合計

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	2 人
介護福祉士	37 人	准看護師	6 人
介護支援専門員	9 人		



短期入所 (ショートステイ) 事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2				2									2
介護1	9	9	4	6	7	10	18	21	18	3	5	17	127
介護2	14	13	19	19	10	18	19	11	12	14	18	18	185
介護3	21	19	18	22	27	33	31	33	30	21	24	30	309
介護4	51	63	75	74	85	64	56	41	39	40	42	40	670
介護5	42	31	12	13	7	8	5	17	10	21	22	22	210
合計	137	135	128	136	136	133	129	123	109	99	111	127	1,503
昨年度利用状況	138	148	140	127	148	137	138	127	147	136	133	139	1,658
利用定員	1,825人		稼働率	82.36									





## 令和4年度 ニツ森ショートステイ 事業報告

年間稼働率：82.3%

※最低稼働率：63.8%（1月）、最高稼働率：91.3%（4月）

年間目標の80%は達成できたが、昨年度（90.8%）を大きく下回る結果となった。90%以上の稼働率を達成した月は4月のみ、それでも上半期はいずれの月も85%を上回る稼働を維持したが、10月以降は伸び悩み、下半期では80%を下回る稼働率まで低下した。

下半期の低下の要因としては、月の大半をショートでご利用されていた方が特養（ニツ森）に入所でき、その他ショート利用のニーズが高い方々も順にニツ森あるいは他施設へ入所となっていったことが第一に考えられる。

新規利用に関しては、昨年度より迅速かつ柔軟に調整を続けてきたものの、要介護度の低い方（＝ショート利用のニーズが低い／限度額から日数を増やせない方）が多くなった。代わりに利用日数の多い方が減ったことでキャンセル発生時の稼働率への悪影響も小さくなったと言えるが、冬季に入るにつれコロナ関連による利用休止が増加・ニツ森でも度々ショート事業所の閉鎖が発生・春先になると容態の悪化から利用予定がキャンセルとなる方も増加し、結果としては度重なるキャンセルに新規利用の調整が追い付かなかった。特に市内感染状況が悪化する度に利用休止も増加するという流れには、一事業所として打てる対策がほとんど無く、大変悩まされた。

事業の範囲外からの悪影響は大きかったものの、手を出せる範囲内では昨年度の課題も徐々に改善でき、数字はともかくとして運営やサービスの内容自体には進歩もあり大きな問題も無かったと考える。利用者に対しては今後も丁寧な対応を心掛け、事業所への信頼を得られるよう努力する。運営に関しては短期間利用の受け入れを増やせたことで、4月～6月の予定を見る限りキャンセルに強い体制ができつつあると考える。

以上

23

...

...

## 令和4年度 ニッ森デイサービスセンター 事業報告

前年度後期から、今年度の始まりに向けた土台作りが完成した状態で令和4年度が始まった。職員も新しい体制の中、各居宅からの新規利用者の獲得が順調に進み、80%以上の稼働率を維持することができた。また7月には90%の稼働率を達成した。これは平成27年11月以来の稼働率となる。3月においては色々な要因が重なったこともあるが、単月で黒字を達成し、良い結果で年度の締めくくりができた。

新型コロナウイルスの影響で営業を中止したこともあり、稼働率に大きな影響があった。しかし今年度は定期的利用が進み、体調不良による休みや入院が少ない傾向であった。また、利用中止の利用者の枠を迅速に埋めるための段取りを常に考えており、そのため、高い稼働率を維持できたと考えられる。ただし平均介護度が2.2と低いため、稼働率が高水準でも収入が少ない事も課題となる。新しく算定できる加算を検討していく。

サービス提供においては、制限付きではあるが花見・紅葉外出を徐々に取り入れた。施設内だけのサービス提供だけではやはりマンネリ化が進む事もあり、利用者満足度を意識したサービスを再開した。前年度から導入したマッサージチェアが利用者の使用率が少しずつ高くなってきている傾向があり、更に1台導入した。マッサージだけでなく、休養スペースとしての活用もはかっている。

職員の体制が前年度より整備できている今、サービス内容や稼働率共に向上できるように引き続き取り組んでいく。



令和4年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500701			定 員 (A)		10人		総合事業 A6有	
事業所名	ニッ森デイサービスセンター			3月利用実人員		28人			
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年末年始を除く)			
報酬単価	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080	
各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月	入浴加算			400	400	400	400	400	
	サービス提供体制強化加算(I)イ	880	1,760	220	220	220	220	220	
	介護職員処遇改善加算(I)	1,038	2,126	479	560	643	726	808	
	介護職員特定処遇改善加算(I)	211	432	97	114	131	148	164	
	介護職員等ベースアップ等支援加算	21	43	12	13	14	15	16	
	※2 要支援1・2の昼食間食は一回690円×利用回数	※2 昼食・間食	690×利用回数	690×利用回数	690	690	690	690	690
		利用料日額÷合計	18,850	38,599	9,387	10,854	12,364	13,863	15,363

要支援は一か月単価表記

	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比較
稼働日数	299日	299日	0
平均年齢	86.9歳	86.7歳	0.20
男女別人員	男699人 女1,855人	男487人 女1523人	—
平均介護度	2.2	2.7	-0.5
要支援Ⅰ	3人	人	3
要支援Ⅱ	21人	5人	16
要支援合計	24人	5人	19
要介護Ⅰ	887人	574人	313
要介護Ⅱ	1,041人	513人	528
要介護Ⅲ	273人	252人	21
要介護Ⅳ	221人	396人	-175
要介護Ⅴ	108人	270人	-162
要介護合計	2,530人	2,005人	525
年間総合計	2,554人	2,010人	544
年間総定員	2,990人	2,990人	0
稼働率	85.42%	67.22%	
計画数	2,317人	2,317人	0
達成率	110.23%	86.75%	

苦情	
令和4年度	令和3年度
0	0
第三者委員へ報告数	

事故	
令和4年度	令和3年度
0	2
保険適用件数0件	

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	1	
介護士	2	2
看護婦(技能訓練)		2
支援		

## 令和4年度 利用者年間行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】		
4	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操	体重測定	
	季節の工作	五月に向けての飾りの工作		
5	季節の工作	五月飾りの工作		
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
6	季節の工作	紫陽花の飾り作り		
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
7	季節の工作	介護職員特定処遇改善加算(Ⅰ)	体重測定	
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
8	季節の工作	花火・うちわの飾り作り		
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
9	季節の工作	みかんの木の飾り作り		
	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする		
10	運動会	チームに分かれ、各種目に取り組む	体重測定	
	季節の工作	ブドウの木の飾り作り		
11	季節の工作	紅葉やいちょうを折り紙で飾り作り		
	紅葉ドライブ	夕森公園に紅葉見学		
12	忘年会	1年の活動を写真のスライドショーで振り返る		
	季節の工作	リースやツリーの飾り作り		
1	正月遊び	かるた等で正月遊びのゲーム	体重測定	
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
2	節分	豆まきを行い、無病息災祈願		
	節分飾り	鬼の飾り作り		
3	桃の節句	お雛様のゲームや飾りを作る		
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
年間通して		誕生日会(各月) 口腔体操(毎日)・リハビリ体操(毎日)		

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供

※生活に則した機能訓練や平行棒での歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供



## 令和4年度 ニツ森居宅介護支援センター 事業報告

令和4年度は、4・5月は専任者3名・常勤兼務1名体制、6月以降は専任者3名体制で、居宅介護支援事業を適正に実施した。専任者3名体制となり、特定事業所加算Ⅲの算定条件を満たしたため、4月から算定開始した。

今年度も、恵北・苗木地区のお客様や中津川市地域包括支援センターからの委託により介護予防支援の受け入れも引き続きおこなった。また、新規申請者の受け入れも積極的におこなった。

新規申請者の中には「ニツ森居宅介護支援センター」指定のお客様もいらっしやり、今までの支援の評価、地域に根付いてきていることを実感している。

担当するお客様が住み慣れた自宅で生活が送れるように、個々のニーズに沿ったケアマネジメントをおこなうことを支援の軸として、関係各所と連携を取りながら進めている。また、医療依存度の高い方、困難事例の対応についても、行政、医療、各介護保険サービス事業者、地域包括支援センターと連携をはかり対応した。

### ※新型コロナウイルス感染が拡大の中でのケアマネジメントについて

令和4年度も新型コロナウイルス感染症が流行している期間は、訪問を控え電話での対応、訪問が必要なお客様は感染防止対策を徹底し訪問にて状況確認をおこなった。訪問自粛期間は、ご本人の状況把握などは介護保険サービス事業者より情報提供をお願いした。このようなやり取りにより、支援側のチームワークもより強化できたと考えられる。

研修・勉強会がオンライン研修に切り替わり、令和3年度より参加しやすい環境となった。対面での研修会・勉強会は感染防止対策のなか、再開している。オンライン、対面ともに勉強の場であるため積極的に参加した。

### ※令和5年度に向けて

令和5年度も引き続き、親切・丁寧を心掛け、「ニツ森居宅介護支援センター」をより多くのお客様に選んでいただけるよう、お客様一人一人のニーズに添えるよう心掛ける。お客様が住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、各事業所、医療、行政、地域包括支援センターとも連携をはかっていく。より多くの事例に対応できるよう、知識の幅を広げていきたいと考えている。

令和5年3月31日現在

◆登録者 106名

内訳 利用者 97名（要介護71名 要支援26名）

未利用者 10名（要介護2名、要支援8名）

<備考>

◆令和4年度 新規・終了

新規32名（未利用者4名含む） 中止18名（ご逝去7名、居宅変更3名、施設入所8名）

以上

## 令和4年度 要介護度別国保請求内訳

対象月	要介護度別内訳							国保請求	実件数	
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	件数	12	9	31	15	6	8	4	85	80
	金額	55,616	39,420	489,400	238,900	114,930	150,180	76,680	1,165,126	
5月	件数	11	10	27	15	5	7	4	79	79
	金額	48,180	43,800	424,420	235,900	95,850	134,190	76,680	1,059,020	
6月	件数	10	10	26	16	9	5	3	79	79
	金額	43,800	43,800	405,460	251,360	175,530	96,350	57,510	1,073,810	
7月	件数	9	10	32	15	7	5	3	81	80
	金額	39,420	43,800	507,720	234,900	136,190	96,350	57,510	1,115,890	
8月	件数	9	10	30	14	7	5	3	78	80
	金額	39,420	43,800	464,300	216,940	140,690	95,850	57,510	1,058,510	
9月	件数	10	11	28	15	5	5	2	76	77
	金額	46,856	51,236	435,380	233,400	95,850	137,690	38,340	1,038,752	
10月	件数	11	11	28	17	5	5	1	78	78
	金額	51,236	48,180	433,380	268,320	95,850	95,850	19,170	1,011,986	
11月	件数	10	10	31	17	5	7	1	81	81
	金額	46,856	43,800	488,760	266,820	97,850	134,690	19,170	1,097,946	
12月	件数	11	10	32	17	6	5	1	82	85
	金額	51,236	43,800	498,220	269,820	117,520	98,350	19,170	1,098,116	
1月	件数	11	12	31	17	5	6	3	85	83
	金額	48,180	55,616	482,760	267,320	95,850	119,520	62,010	1,131,256	
2月	件数	12	11	29	16	6	7	2	83	83
	金額	58,672	48,180	451,340	251,860	118,020	137,190	38,340	1,103,602	
3月	件数	13	10	29	21	8	7	1	89	86
	金額	59,996	43,800	451,340	337,160	156,360	143,690	19,170	1,211,516	
合計	件数	129	124	354	195	74	72	28	976	
	金額	589,468	549,232	5,532,480	3,072,700	1,440,490	1,439,900	541,260	13,165,530	

※介護報酬加算 要介護①・② 12,370円 要介護③～⑤ 16,080円

要介護①・② 居宅介護支援費Ⅰ 10,760円+1,614円(特別地域居宅支援加算) = 12,374円(一の位四捨五入)

要介護③～⑤ 居宅介護支援費Ⅰ 13,980円+2,097円(特別地域居宅支援加算) = 16,077円(一の位四捨五入)

※特別地域居宅支援加算：居宅介護支援費の100分の15に相当する金額を居宅介護支援費に加算します。

※令和4年4月より特定事業所Ⅲ算定。要介護認定1名につき3,090円算定。

退院退所 1回連携/カンファレンス有6,000円、カンファレンス無4,500円

2回連携/カンファレンス有7,500円、カンファレンス無6,000円

3回連携/9,000円

入院時情報連携 (Ⅰ) 2,000円 (Ⅱ) 1,000円

入院連携(Ⅰ) →医療機関に情報提供3日以内に行う。入院連携(Ⅱ) →医療機関に情報提供7日以内に行う

※介護予防支援業務委託料 初回作成 7,436円 継続作成 4,380円